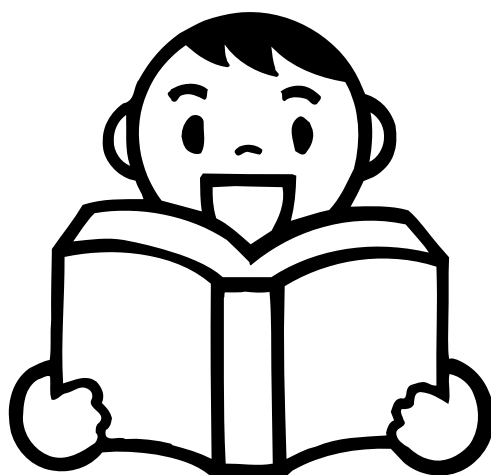


学校、家庭、地域が一体となった 子どもの読書活動推進についての調査研究



平成23年3月



埼玉県立総合教育センター

Saitama Prefectural Education Center

学校、家庭、地域が一体となった 子どもの読書活動推進についての調査研究

目 次

I	研究主題	1
II	研究主題設定の背景	1
III	研究の目的	3
IV	研究の進め方と経過	3
V	研究の内容	4
1	子どもの読書活動とは	4
2	読書活動の先進事例について	4
3	読書活動推進のためには	5
4	子どもの読書活動推進の実践事例	6
	《 大人へのはたらきかけ 》	
(1)	読書活動に関する校内研修の実施	川越小学校 6
(2)	保護者への読書啓発活動	春日部東高等学校 9
(3)	ブックスタート	三芳町立中央図書館 11
	《 大人と子どもへのはたらきかけ 》	
(1)	家庭読書「家読（うちどく）」	川越小学校 15
(2)	P T A・生徒合同読書会	浦和西高等学校 18
(3)	おはなし会への親子参加	三芳町立中央図書館 20
	《 子どもへのはたらきかけ 》	
(1)	おすすめの本(ブックリスト)の選定	川越小学校 24
(2)	いつもと違う読書をしようプロジェクト	光陽中学校 27
(3)	いつもと違う読書をしようブックトーク	光陽中学校 30
(4)	感想文を読もう	光陽中学校 32
(5)	読書週間クイズの実施	春日部東高等学校 34
(6)	学校へ出向いてのブックトーク	三芳町立中央図書館 36
VI	研究のまとめ	39
◇	資料	41

【 調査研究の概要 】

平成13年に「子ども読書活動の推進に関する法律」が成立し、その後、本県や市町村は「子ども読書活動推進計画」を策定した。また平成21年に策定した「生きる力と絆の埼玉教育プラン」の中で、豊かな心を育む教育推進の一つとして読書活動の推進を掲げている。このような背景の下、12学級以上の規模の小中学校に司書教諭が置かれ、公立図書館においては子ども読書活動推進のための読み聞かせ、ブックトーク等の方策が講じられている。（高等学校図書館には昭和54年から全日制の全校に学校司書が配置され、昭和61年に職名が学校司書から司書に変更された。）

そこで本調査研究では、学校、家庭、地域における望ましい子ども読書活動のあり方を探る。そして、読書習慣を形成し読書に親しむ児童生徒を育成するための実践を調査し、学校、家庭、地域の三者が一体となった子どもの読書活動推進について提案する。

I 研究主題

学校、家庭、地域が一体となった子どもの読書活動の推進についての調査研究

II 研究主題設定の背景

平成20年に学習指導要領が改訂され、平成23年度の小学校より順次中学校、高等学校と全面実施される。いずれの学習指導要領総則の「指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項」の中に「学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童（生徒）の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実すること。」とあり、国語科の中で読書に関する目標が記されている。

読書は、読解力や想像力をはぐくむうえで重要な活動である。しかし、近年、テレビやコンピュータゲームの普及など子どもの遊び文化が激変していく中で、子どもの文字活字離れや読書離れが指摘され、憂慮すべき問題となっていく。

そうした中、本県では平成10年度から展開している「彩の国5つのふれあい県民運動」でも、その一つに「本とのふれあい」を取り上げている。

国においては、平成12年の教育改革国民会議報告で「人間性をより豊かにするために、読み、書き、話すなど言葉の教育」を重視すべきことが提言された。それを受け、子どもゆめ基金が創設され、子どもの読書活動の振興を図る活動への支援が始まった。そして、平成13年に制定された「子ども読書活動の推進に関する法律」には、県や市町村に子どもの読書活動推進に関する計画の策定に努めなければならないと規定された。その後、平成17年には文字・活字文化の振興を総合的に推進するための「文字・活字文化振興法」が制定された。

本県では、平成16年に「埼玉県子ども読書活動推進計画」、平成21年3月には第2次計画を策定し、子どもの読書活動推進に取り組んでいる。（市町村における「子ども読書推進計画」の策定率は平成22年3月現在37.5%となっている。）また、教育振興基本計画である「生きる力と^{きずな}絆の埼玉教育プラン」においても、豊かな心をはぐくむ教育推進の一つとして読書活動の推進を掲げている。そして、公共図書館や公民館、ボランティアサークルによる「おはなし会」や「ブックトーク」等の実施など豊かな読書活動が取り組まれている。

学校においては、昭和54年から全日制高等学校全校に学校司書が配置され、昭和61年に職名が学校司書から司書に変更された。平成15年からは12学級以上の小中学校に司書教諭が配置されるようになった。そしてこの頃、遠山文部科学大臣が「学びのすすめ」の中で奨励した「朝読書」が全国で1万校を超える取組になっていた。

また、平成20年3月に教育課程の基準となる学習指導要領が改訂され、読書活動を充実するよう次のように記されている。

【小（中）学校総則】の「指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項」

学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童（生徒）の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実すること。

【小（中）学校 国語科】各学年の目標

- （小 1・2 年）楽しんで読書する
- （小 3・4 年）幅広く読書する
- （小 5・6 年）読書を通して考えを広げたり深めたりする
- （中 1 年）ものの見方や考え方を広げようとする
- （中 2 年）読書を生活に役立てようとする
- （中 3 年）読書を通して自己を向上させようとする

【高等学校総則】

学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実すること。

【高等学校国語総合】の「内容の取扱い」

自分の読書生活を振り返り、読書の幅を広げ、読書の習慣を養うこと。

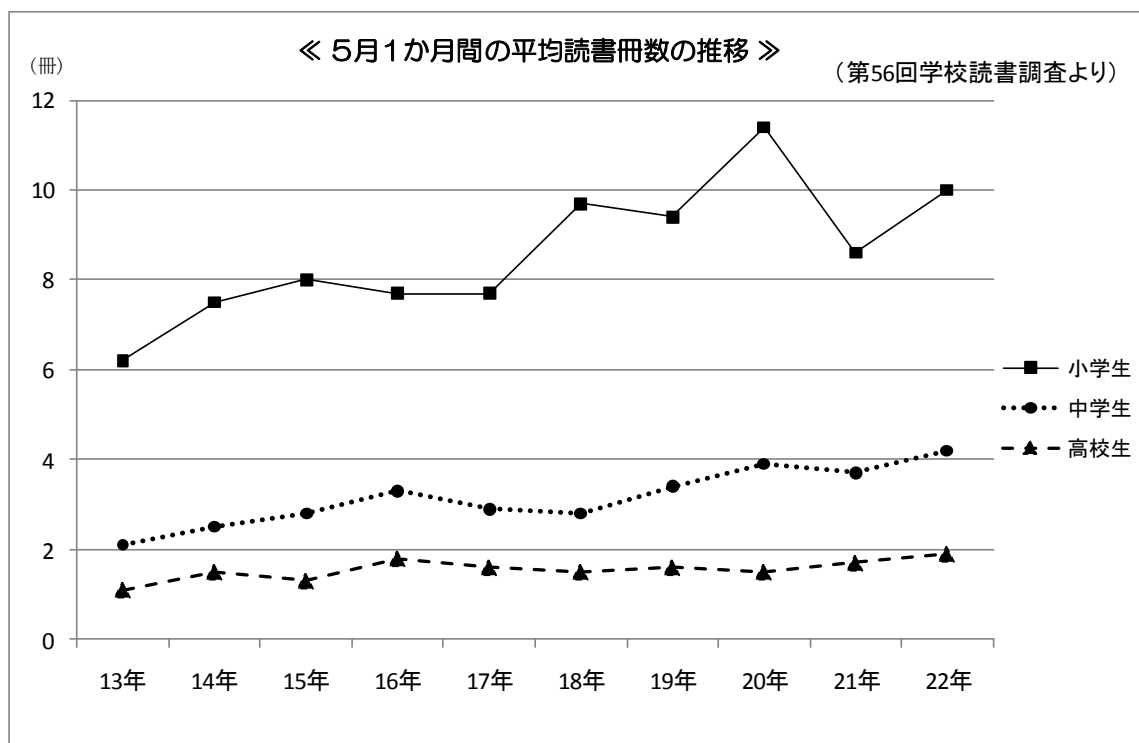
【高等学校国語現代文A】の「内容」

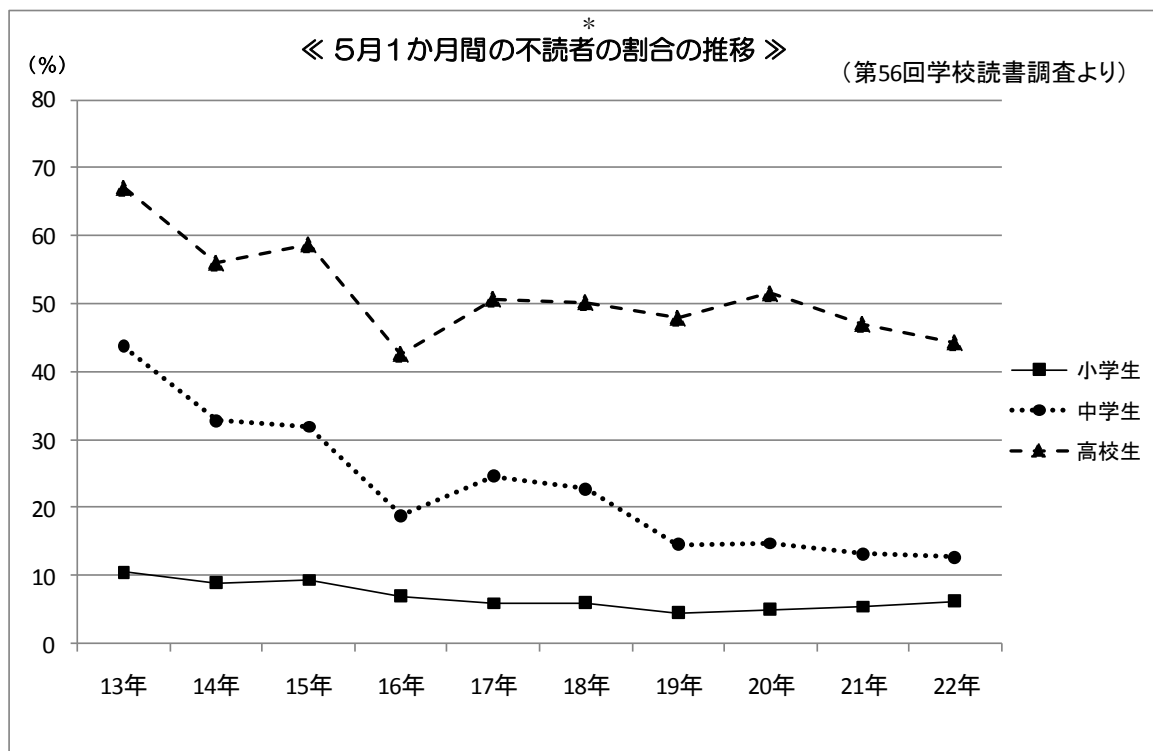
図書館を利用して同じ作者や同じテーマの文章を読み比べ、それについて話し合ったり批評したりすること。

【高等学校国語現代文B】の「内容の取扱い」

生徒の読書意欲を喚起し、読書の幅を一層広げ、文字・活字文化に対する理解が深まるようにする。

このような状況の下で、少しずつ子どもの読む本の冊数が増えてきているという統計もある。しかし、「読まされている」という状況や読む子読まない子の2極化も指摘されている。





* 不読者：5月の1か月間に読んだ本が0冊の子どものこと

Ⅲ 研究の目的

- 1 読書習慣を形成し自ら読書に親しむ子どもを育成するための実践を調査する。
- 2 自ら読書に親しむ子どもを育成するための効果的な方策を検討・実践し、学校、家庭、地域の三者が一体となった子どもの読書活動推進について提案する。

Ⅳ 研究の進め方と経過

- 1 本研究で取り上げる「子どもの読書活動」について定義する。
- 2 子どもの読書活動推進の先行事例や研究協力委員の取組事例から、子どもの読書活動推進の重要なポイントを明らかにする。
- 3 子どもの読書習慣を形成していくための具体的な取組を研究協力委員に実践してもらい、その事例を提示する。

第1回	研究協力委員会	5月24日(月)	研究の進め方について提案・検討
第2回	研究協力委員会	7月7日(水)	取組事例について協議
第3回	研究協力委員会	10月13日(水)	各委員の取組について検討
第4回	研究協力委員会	11月22日(月)	各委員の取組、研究のまとめについて 検討
第5回	研究協力委員会	2月3日(木)	研究報告書の確認・修正

V 研究の内容

1 子どもの読書活動とは

読書とは、「文字、文章を読んで理解すること」である。すると、学習や研究、仕事、子育て、趣味、情報収集など様々な局面で読書をしていることになる。本県の「子ども読書推進計画」や「生きる力と^{きずな}絆の埼玉教育プラン」での読書は以下のように述べられている。

読書は・・・（中略）・・・豊かな感性や情操、価値観など、人間性の育成にも大きな役割を果たすと考えております。また、読書は、国語力を構成している「考える力」「感じる力」「想像する力」「表す力」などを育てる上で中核となるもの

また、研究協力委員会での話し合いで出された読書のよさについても、

（ア）知識を集めることができる。

（イ）自分が体験することのできないことを疑似体験することができる。

（ウ）行間を読み、登場人物の姿や心情、色やにおい、音といった情景を思い浮かべるといった想像力を培うことができる。

（エ）夢や希望を抱かせてくれる。

などの意見が出された。

以上のことから、本調査研究では、子どもの読書活動とは、学習や研究の類のことではなく、読み物を読むということに限定して考えることにした。また、子どもが自分で本を読むことのほか、読み聞かせのように本を読んでもらうことも読書のよさにつながることから、読書活動であると定義した。

2 読書活動推進の先行事例について

朝の読書活動、読み聞かせ、読書へのアニマシオン、ブックトーク、ストーリーテリング、ブックスタートなど様々な読書活動やそれを目指した活動が行われている。先行事例として一部を以下に示す。

【茨城県大子町】 「読書のまち」宣言

「うちどく（家読）Q&A 集」を作成。子どもと保護者が各家庭の「うちどく（家読）体験」の発表会を行ったり、読み聞かせ講座を開催したりしている。

【香川県】 「23が60読書運動」

子どもがいる全家庭において、毎月23日を含む1週間に合計60分以上を目標に、家族でいっしょに読書活動に取り組む運動を行っている。

【三重県亀山市】 「ファミリー読書リレー」

さまざまなジャンルから選ばれた5～10冊程度の本と読書記録を残す「読書の木」カードや読後の感想を書く読書リレーカードが入ったバッグを次の家庭へ回す。

【鳥取市立福部中学校】

生徒が幼稚園・保育園や小学校へ行き読み聞かせを行う。その準備として、ボランティアを招いて講義・指導してもらう。

【宮城県松山高等学校】

地域の高齢者とのふれあいとして、絵本や紙芝居の読み聞かせや仙台弁で昔話をする。

3 読書活動推進のためには

以上の先行事例と研究協力委員の取組事例から、子どもの読書活動推進のためには、「子どもへの直接のはたらきかけだけでなく、子どもの周囲にいる大人へのはたらきかけが重要である」ことを確認した。

本は読まなければならないもの、読むなら全部読まねばならないなどという義務感が子どもの心の底にあると、自ら読書をしようと思わない。その義務感を取り払うためにも、子どもに読書を強要するのではなく、読みたくなるように環境を整えてやることがポイントであるという結論に至った。その環境とは、

- 子どもの読みたくなるような本が身近にある
- 子どもが本にふれる場や時間がある
- 子どもを本好きになるように導く大人や友達がいる

というものである。

㊦大人へのはたらきかけ ㊩大人と子どもへのはたらきかけ ㊧子どもへのはたらきかけ、の3つの観点から読書活動の取組を実践することにした。

4 子どもの読書活動推進の実践例

大人へのはたらきかけ

読書活動に関する校内研修の実施

～ 川越市立川越小学校 ～

1 目的・概要

学校において子どもの読書活動を推進するためには、教員の読書活動への理解と協力が不可欠である。そこで、教員が児童と本の橋渡しができるようになることをねらい、校内研修で読書活動を取り上げ、読書活動の意義や実際に学んでもらった。

また、本研修では、市立図書館の協力を得ることにより公共図書館との連携を図った。

2 場所

川越市立中央図書館

3 準備するもの

- おすすめの本紹介カード、
 - ボード
 - 資料は、市立図書館で用意していただいた。
 - ・ 図書館利用案内
(大人用、子ども用)
 - ・ ブックトークについて
 - ・ 学校用利用案内
 - ・ 視聴覚ライブラリー案内
- 等

<おすすめの本紹介カード>

4 工夫・留意点

- (1) 読み聞かせやブックトークの実際に触れることによって、教員が子どもたちに本を紹介する活動を知ってもらう。
- (2) 児童書のコーナーで実際に本を手に取り、子どもたちに薦める本を選ぶことによって様々な種類の児童書が出版されていることを知ってもらう。
- (3) 市立図書館の施設見学をすることで、地域の図書館についての理解を深め、授業の中などで活用しようとする意欲をもってもらう。
- (4) 本校の読み聞かせボランティアにも研修に参加してもらい、読み聞かせについて理解を深めてもらうとともに教員との協力体勢をつくる。

5 活動の実際

(1) 事前準備①

市立図書館の児童係職員に連絡を取り、相談をする。

- 校内研修で読書指導について取り上げたいことを話し、協力を依頼する。
- 内容については、学校の中で活用できるようなブックトークや読み聞かせの実際を研修させてほしいことを願う。

(2) 事前準備②

夏期休業中の研修計画に読書活動についての研修を提案する。

- 研修の目的とおおまかな内容を説明し、研修の時間を確保する。

(3) 事前準備③

市立図書館側との打ち合わせをし、学校の読み聞かせボランティアにも参加を呼びかける。

- 市立図書館に出向き、担当の職員と研修会のねらいや内容、時間配分についての打ち合わせをする。
- 学校の読み聞かせボランティア代表者に研修会の説明をし、参加を呼びかけてもらう。

(4) 事前準備④

校内図書館部の職員で役割分担をする。

- 学校図書館部会を開き、当日の研修の流れや役割分担を話し合う。

(5) 校内研修実施

平成22年8月25日(木) 15:00～16:30

ア 図書館紹介

- ・・・川越市立中央図書館の概要

イ ブックトーク・読み聞かせ

- ・・・児童係職員によるブックトークと読み聞かせ
ブックトークに利用できるブックリスト紹介

ウ 図書館内見学

- ・・・視聴覚ライブラリー、閲覧室や書庫等館内施設の案内

エ 本の紹介と閲覧

- ・・・児童書のコーナーで本を紹介してもらったり自由に閲覧したりする。

オ 児童室でおすすめの本をさがし、紹介カードを書く。

- ・・・児童書コーナーで実際に本を手にとって川越小の児童に薦めたい本を「おすすめの本紹介カード」に記入する。



6 成果と課題

- 公共図書館との距離が縮まり、互いに協力して読書活動を推進していこうとする素地ができた。
- 教員、読み聞かせボランティアにお勧めの本を紹介してもらったものを図書委員の児童が掲示物にして児童に紹介することができた。
- 教師の読書や児童書に対する関心が高まり、熱心な研修ができた。
- 朝の読書タイムで読み聞かせを実施する担任ができた。
- 今後、公共図書館と連携した活動を増やしていきたい。



<学級での本の紹介>

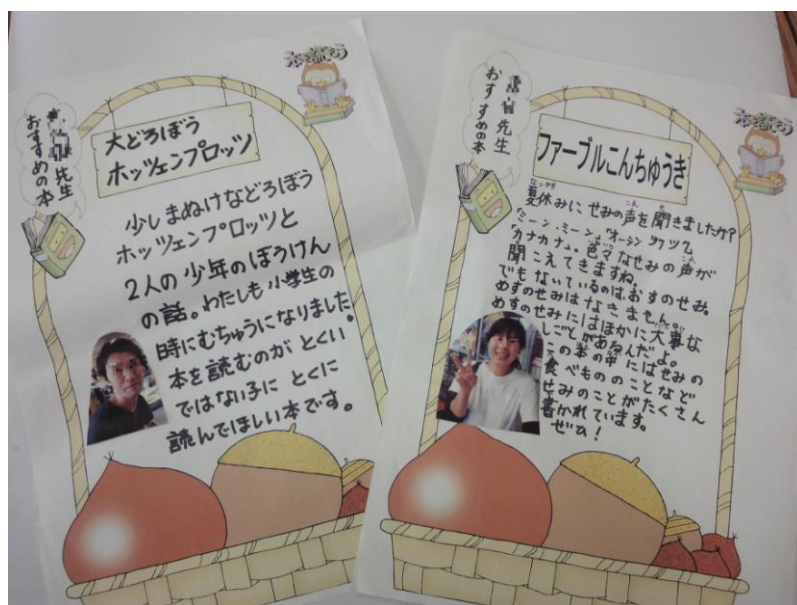


<学級での読み聞かせ>

<図書委員が作成した

「先生方のおすすめの本」>

「おすすめの本紹介カード」をもとに
掲示用に作りました



保護者へ読書啓発活動

～ 県立春日部東高等学校 ～

1 目的・概要

保護者に積極的な図書館利用を呼びかけることで家読の力を高め、本的话题を親子で共有できるようにする。

2 場所

広報紙の配布場所 → 生徒の昇降口、PTA総会会場・図書館

3 工夫・留意点

保護者に直接、図書館利用のしくみを紹介することで、保護者に図書館を身近なものとして感じてもらう。

4 準備するもの

- 広報紙「Lib」の特別号
- 広報紙を拡大した掲示物 など

5 活動の実際

- (1) 授業参観、PTA総会などの際に、生徒を通して保護者も図書館の本が借りられるということを広報紙で知らせる。
- (2) PTA総会の中で、司書が図書館利用について説明する。
- (3) 広報紙「Lib」の中で、生徒を通して保護者も本を借りられることをPRする。
- (4) 授業参観、三者面談の際には、保護者が図書館に来館し、直接本を借りることができるようにしておく。
- (5) 中学生の学校見学の時に、生徒を通して図書館を利用できることをPRする。
- (6) 学校のホームページの中に図書館ブログを作成し、保護者に向けて情報を発信する。



保護者向け特別号

2010. 5. 15 (土)
発行：春日部東高校図書館

公開授業の際に、図書館も開放しています。
ぜひ、図書館にもお立ち寄りください！
図書館は、1年生の教室の反対側、5Fです！

保護者向け図書館案内

- 保護者の方もお子さまを通じて図書館が利用できます。
- 本・雑誌のバックナンバーは、2週間借りられます。
- 貸出冊数は無制限です。
- 予約のついてない本は、2週間の延長をすることができます。
- 図書館で受け入れた新刊は、新着図書案内「Lib」でお知らせしています。
- 授業参観、三者面談の際には、保護者の方も書架を直接ご覧いただけます。
お子さんのカードの提示、または出席番号をカウンターで告げて預ければ、本の貸し出しをいたします。
- その他、お探しの本についての相談をお受けいたします。



図書委員がセレクトした
保護者の方へおすすめした
本、展示中です。

<保護者向けの広報紙>

6 成果と課題

- 保護者が生徒を介して図書を借りることにより、生徒の読書への関心が高まる。
- 保護者と生徒の会話が、本を通して広がる。
- 司書が、本を探す手伝いをしたり貸出手続きをとったりする際に会話を交わし、生徒の家での読書の様子を知ることができる。
- 図書館の本をパソコンで検索したいという要望が保護者から出ているため、その方策を模索中。



～ 図書館とあなたをliveで結ぶ情報紙 ～

No. 3

2010. 5. 18 (火)

発行：春日部東高校図書館

土曜日の授業参観の時には、たくさんの保護者のみなさんにご来館いただき、とてもうれしかったです。のべ、60名くらいの方にご来館いただきました。

特にうれしかったのが、1年生のお母さんに、オープンキャンパスできて、図書館で親切にしてもらって、入学できたからうれしいと声をかけていただいたこと。図書館は、本と人をつなぐ場所で、こうやって、人とのつながりが生まれていくんだなと感じました。

誠実にみなさんからの要求に応じていきたいと思います。頑張るね！

それと、図書館からのお便りも、読んでくださっている方が多かったのもうれしかったです。みなさんに、感謝、感謝！

さて、テスト一週間前になりました。司書が不在の時もあるのですが、テスト中も、図書館は16:30まで開館しています。勉強したい人はぜひ、ご来館ください。

2010年4月

貸出統計

1年生	636冊	貸出の多かったクラス・ベスト3		
2年生	274冊		1位	1-5 (150冊)
3年生	134冊		2位	1-4 (123冊)
教職員	77冊		3位	2-6 (92冊)
合計	1,121冊			

1年生の貸出がすごく多くてうれしいです！ 2, 3年生も負けずに借りてね！

5月20日(木)

<広報紙「Lib」の一部>

毎号、新着図書案内をこの右ページにしています。

2011年02月02日
本のソムリエ

昨日は、新着案内だけをUPして、コメント書かずにはすみませんでした。

なんだか、司書室へたくさんの方が来てくださって、本を紹介しまくっていたので、余裕がありませんでした(汗)

新着案内を発行すると、それを持って図書館を訪ねてくれる人が必ずいます。

それがいい！、お母さんから本を借りてきてと頼まれた男子で、お母さんのために図書館で本を借りてあげるなんて、なんて偉いだろう！と、その子をホメまくっちゃいます。

その時に、「お母さんに図書館のブログ読んでって伝えてね」って必ず言って、読者拡大を狙っています。

さっき本を借りに来てくれた先生から、「TVで本のソムリエの話をやっていたんだナド、木下さんの仕事もあんまりだよ」って言われてうれしくなりました♪

あなたにぴったりの本をいつでも紹介できる司書でありたい。そう、思っています。

<図書館のブログ>

学校のホームページから入れます。

ブックスタート ～ 三芳町立中央図書館 ～

1 概要・目的

保健センターの4か月児健診会場で保護者と赤ちゃん1組ずつにスタッフが絵本を読んでも聞かせる。絵本を介して赤ちゃんに心豊かな時間を持つ楽しさを味わってもらってから、家庭ですぐに実践できるよう、おすすめの絵本を進呈する。絵本に関心の高い保護者だけではなく、すべての赤ちゃんに保護者を対象とする。



2 場所

三芳町立保健センターの4か月児健診会場（受診率96%以上）

3 準備するもの

- ブックスタート・パック（1人に1パック進呈）
 - ・ 絵本1冊（読み聞かせする2冊のうち1冊を進呈）
 - ・ ブックスタート・イラスト・アドバイス集
 - 「あかちゃんのすきなものしってる？」
 - ・ ブックスタートデニムバック
 - ・ 三芳町立図書館ブックリスト（Q&A付き）
 - 「あかちゃんのためのFIRST BOOK」
 - ・ 図書館利用案内、利用登録届

※ 絵本、イラスト・アドバイス集、デニムバックは、NPOブックスタートより一括購入。
絵本は定価の6割で入手できる。



＜ブックスタート・パック＞

4 活動の実際

（1）通知の発送

受診対象者に、4か月児健診通知と一緒にブックスタートの案内を郵送。
（保健センターに依頼）

(2) 当日のスタッフ体制

- ブックスタートブース（4か所）で対面对話／4名
(図書館職員、有償ボランティア)
- 健診の進行に合わせてブースに案内／1名 (保健センター職員)
- 待合室で読み聞かせ及びアドバイス／2名 (有償ボランティア)
- 図書館児童カウンターで待機／1名 (図書館職員)

(3) 当日のタイムテーブル

- 10:00～ 保健センター会場設置、「ブックスタート・パック」準備、
図書館入口付近におすすめ本を多数ブックトラックにのせて展示
- 12:30 事前打ち合わせ（図書館会議室）、
- 12:45 保健センターで準備
- 13:00 4か月児健診 受け付け開始
ブックスタート開始（医師の診断の前に）
- 13:40 4か月児健診 受け付け終了
- 14:30 **ブックスタート終了**
- 14:30～ 反省会（図書館会議室） 次回打ち合わせ

(4) 当日の仕事内容

ア 対面对話

赤ちゃんと保護者1組に、図書館のブックスタートスタッフ1名が対応。進呈予定の絵本を2冊読み聞かせ、赤ちゃん絵本を読み合う楽しさを実感してもらう。その後、2冊のうち1冊を進呈し、家庭での読み聞かせをすすめる。（所要時間／1組につき約7分間。4組同時進行）

イ 会場の雰囲気づくり

ブックスタートブースの外（待合室）に、絵本に親しむコーナーを設置し、随時読み聞かせや本選びなどの質問を受ける。

ウ 図書館児童カウンターで待機

ブックスタートを受けたあとに来館する親子に対応できるよう、児童担当職員が待機。推薦絵本リストの本は入口付近に展示し、本選びや読み方などの質問に応じる。

5 工夫・留意点

(1) 地域ぐるみの事業であること

ア 気持ちの共有と専門性を生かす

図書館、保健センター、ボランティアなど、地域の人々が赤ちゃんの幸せを願う気持ちを共有し、それぞれの専門性を生かしながら実施する。

イ 保健センターとの共催事業に

赤ちゃん保護者が気持ちよくサービスを受けられる環境をつくるために、当事業を図書館・保健センターの共催事業とし、始動1年前から会場の設置方法、進行手順、事務分掌など検討。理念と情報の共有に努めた。

ウ 町職員への周知・担当者研修の実施

事前講演会「ブックスタートってなあに？」を開催する。

- ・開催日／平成20年5月16日（始動日は、平成20年6月13日）
- ・講師／NPOブックスタート職員 出原氏
- ・受講者／図書館、保健センター、保育所、子育て支援センター、児童館、子ども家庭課職員などの職員、スタッフとなるボランティア 計41名参加

エ 定期的な広報・周知

町の広報誌などを活用し、定期的に事業内容、受診者の反応、効果などを周知する。

（2）本選び

- ア 赤ちゃんを引きつける力があり、保護者にも絵本ならではの魅力が伝わる良質の絵本を選ぶこと。保護者自身が絵本に魅力を感じないと、家庭での継続的な読み聞かせは期待できない。
- イ NPOブックスタートの選定図書20冊の中から、実際に進呈する本1～2冊を選出する際、赤ちゃんへの読み聞かせ活動をしている経験者の意見を取り入れ、選考委員で実践を繰り返し絞り込んでいく。

＜三芳町ブックスタートの絵本＞

いないいないばあ



松谷みよ子文
瀬川 康男 え
童心社

がたんごとん がたんごとん



安西水丸さく
福音館書店

※ 上記2冊を読み聞かせ、そのうち1冊進呈。残りの1冊は、図書館（保健センターの向かいの建物）に、貸出できるよう多数準備しておく。

（3）読み方・語りかけ方

- ア 短時間内（1組7分程度）で赤ちゃんとも保護者の心をつかみ、楽しんでもらい、保護者が「私も読んでやりたい」と思えるよう実施する。押し付けにならないこと。
- イ 赤ちゃんへの読み聞かせ経験が豊富な人材を核としたスタッフ編成。始動前に、対面シュミレーションなどの練習会。絵本の選び方・読み方などの研修は定期的・継続的に実施。

（4）会場の設置。

- ア ざわつきがちな会場だが、できるだけ集中できる空間をつくる。
- イ 受診者の動線を考慮した位置に設置。健診待合椅子付近に、絵本と触れ合うコーナーも設置し、ボランティアによる読み聞かせを臨機応変に実施。絵本と親しむ雰囲気盛り上げる。

（5）本を進呈するだけの事業に終わらず、家庭での継続的取り組みにつなげる。

- ア アフターケアは、図書館で。

図書館利用案内、図書館の推薦絵本リストを本と一緒に手渡し、おはなし会（6か月～1歳児対象の会）への参加も呼びかける。

- イ 図書館を身近に感じてもらい、図書館を活用して家族ぐるみで本に親しんでほしい

と案内する。当日は、図書館入口に推薦リスト掲載のあかちゃん絵本を多数用意しておく。



6 成果と課題

- 4 か月児の赤ちゃんがしっかり絵本に集中する姿を見たときの親たちの嬉しそうな顔が印象深い。図書館の乳幼児向け絵本の貸し出し冊数が大幅に増加し、乳幼児向けおはなし会への参加が年々増えている。読み聞かせを実践している家庭が増えているという手ごたえを感じる。
- 保健センターからは、ブックスタートを始めてから 4 か月児健診の受診率が上がっていると報告を受けている。絵本を読み合い、赤ちゃんが心と心が触れ合う喜びを体験することで、幼児虐待をする親も減ると期待できる。
- 定期的な研修を続け、慢心せずに継続することが課題である。



家庭読書「家読（うちどく）」の取組

～ 川越市立川越小学校 ～

1 目的・概要

学校で読書をすすめるだけでなく、普段の身近な生活でも読書に親しむことが読書習慣を育てるために大切であると考え、全校で家庭読書の取り組みを始めた。

2 場所

各家庭

3 準備するもの

- 児童アンケート
- 集計表
- アンケート結果、考察
- 家読提案資料
- 家読カード
- 図書館便り



4 工夫・留意点

＜図書館便り＞

- (1) 児童の実態からスタートするため、読書に関してアンケート調査を行う。
- (2) 学校をあげて家庭読書に取り組むことを共通理解する。
- (3) 全学級で実施方法を統一する。
- (4) 保護者にも読書の意義や大切さを認識してもらうため、図書館通信で PR する。

保護者様

平成 22 年 7 月 13 日

児童の読書生活についてのアンケート

川越市立川越小学校図書館部

盛夏の候、保護者の皆様には、本校の教育活動に熱心なご支援をいただきありがとうございます。さて、本校では読書の取り組みをさらに積極的に行っていくと考えています。つきましては、現在のお子さんの家庭での様子についてアンケートにご協力いただきたくお願い申し上げます。

お子さんの学年 () 年生 男・女

1 お子さんは家庭でどのくらい読書(漫画、雑誌、ゲームの本以外)をしていますか?
ア 毎日読む イ 2日に1度読む ウ 時々読む エ 全く読まない

2 1でア、イ、ウと答えた方は1日にどれくらい読みますか?
ア 1時間以上 イ 30分～1時間 ウ 30分未満

3 1でア、イ、ウと答えた方は、どんな種類(分野)の本を読みますか? (複数回答可)
・絵本 ・物語 ・小説 ・自然(動物・昆虫・宇宙など) ・図鑑 ・歴史
・乗り物 ・科学 ・スポーツ ・伝記 ・料理手帳 ・漫画 ・時 ・仕事
・その他 ()

4 お子さんは読書が好きですか? はい・いいえ

5 公立図書館を利用していますか?
ア よく利用している イ 時々利用している ウ ほとんど利用していない エ 全く利用していない

6 5でア、イ、ウと答えた方はどのくらい利用しますか?
ア 毎週 イ 月に数回 ウ 年に数回

7 親子で一緒に読書をしていますか? (読み聞かせも含む)
ア している イ 時々している ウ ほとんどしていない エ 全くしていない

8 7でア、イ、ウと答えた方はどのくらい利用しますか?
ア 毎日 イ 2日に1度くらい ウ 1週間に1度くらい エ 月に1度くらい

ご協力ありがとうございます。7月15日(金)までに担任に提出してください。

＜家庭読書アンケート用紙＞

読書推進プロジェクト 家庭読書の取り組みについて (案)

平成 22 年 9 月 27 日

先日の「家庭に向けての読書アンケート」の結果から、学校では本を読むが、家庭で本を読んでいる児童が少ないという実態が分かった。この結果から、家庭読書を推進するための提案をします。

① 土日に 20 分くらい読書をする宿題を出す。
② 書読カードのようなカードに記録をして、月曜日に提出。担任印を押す。
③ できれば保護者にも一言書いてもらったり、親子で読書ができるようになりたり推進していく。

本の花を さかそうカード

9月10日

お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん、みんな、一緒に読書しよう。

＜提案資料＞

5 活動の実際

(1) 事前準備①

図書部会での話合い

ア 児童の実態について

本校の児童の様子を見ると、朝の読書の時間や学級の読書の時には熱心に読書をするが、休み時間に図書室を利用しない児童もみられる。また、家庭での読書の状況はわからないが、保護者会等で「あまり本を読まない」「家ではほとんど読書をしていない」などの声が聞こえる。

イ アンケートの内容と方法

家庭読書に関するアンケートを実施することを提案し、アンケートを作成することに決定。内容は、

- ・ 家庭での読書、親子読書の状況
- ・ 読書の傾向
- ・ 地域の公立図書館の利用状況

について調べることにした。

ウ アンケート集計と考察

各学級でアンケートを実施。学年毎に集計し、グラフを作成し考察を行った。その結果、

- ・ 家庭での読書時間が少ない。
- ・ 読み物が多く読まれる傾向があり、公立図書館の利用も少ない。
- ・ 低学年に比べ、高学年になると親子での読書は、ほとんど行われていない。

などのことがわかった。

エ 家読の方法検討、提案資料作り

図書部会で家庭読書の取り組み方法を検討し、職員会議で提案する資料を作成した。

(2) 事前準備②

職員会議で家読を提案

- ・ 部会で話し合った内容とアンケート結果を知らせ、家庭読書の取組について提案し、意見を聞いた。
- ・ 親子読書も推進するため、親子で読書をした日にはカードに塗る色を変えてはどうか、などの意見が出されたが家庭の実態を考慮して初年度は、特に指定をしないで行うことに決定した。

(3) 事前準備③

保護者向け図書館便り発行

- ・ 保護者に読書の大切さを理解してもらい、家庭読書の取組への協力を依頼するため、図書館だよりを作成、配布。
- ・ 図書館だよりでは、アンケートの結果も示し、児童の実態を知ってもらった。

(4) 家読開始

ア 土曜日・日曜日・祝日の日にちを入れる。

家庭読書カードを児童に配布。

(1～2ヶ月を1枚にした。)

イ 土、日、祝日には、各クラスで家庭読書の宿題を出す。

ウ 1回20分以上読書をした日のマスに色を塗るよう指導。

読書する本は、学校で借りた物でも家庭にある本でも可。教科書やマンガ(学習マンガは除く)は不可。

エ 休み明けにカードを回収し、担任が印を押したりシールを貼ったりして評価。



6 成果と課題

- どのクラスでも家庭読書に取り組むことができた。
- 学年毎に話し合い、評価の方法を工夫している。
- ほとんどの児童が進んで取り組み、休日に市立図書館に行ったという話も聞かれるようになってきた。
- 読んだ本は、川越市で行っている読書マラソンカードに書名や感想を記入しているが、学年相当の図書を読ませるようにしていきたい。
- 児童の家庭での読書時間の確保に加え、保護者との親子読書も推進していきたい。
- TOHANのHPで「うちどく(家読)」のコーナーがあり、「うちどくブックガイド」(vol1～7)や「うちどくノート」がダウンロードできる。また、色々な団体や市町村の家庭読書の取り組みに関する情報も載っているので今後の取組の参考にしたい。

<家読カード>

<保護者の感想より>

- ・今までゲームをやっている時間に、本を読んでいる姿を見るようになりました。
- ・休みの日になると図書館へ行って読んだり、借りて来たりしています。
- ・家で本を読む時間が増えました。学校で借りてくる日は、テレビを見ないで読んでいます。とても良い取組だと思います。
- ・家族みんなで読む時間もでき、いつも週末の夜寝る前に読んでいます。
- ・休みの日に声をかけると読んでいます。読み出しておもしろいといっきに最後まで読んでしまうこともあります。
- ・学校の取組が大きなきっかけになりました。いつも読む好きなお話ばかりでなく、ちょっと長い童話にも挑戦しておもしろさを味わうことができています。

P T A ・ 生徒合同読書会 ～ 県立浦和西高等学校 ～

1 目的・概要

P T A文化部和図書委員会が合同で開催する本読書会は、1987 年より年 1 回開催している。対象は生徒、教職員、保護者世代を超えて 1 つのテキスト(本)について語り合うことで、読書の自由と深みを味わう。

2 場所

学校図書館

3 準備するもの

- テキスト
- 記録用紙
- アンケート用紙
- 参加者名簿
- 名札
- 菓子
- 宣伝ポスター
- チラシ
- 申込書
- 準備会レジューメ



4 工夫・留意点

- (1) この読書会は、P T A文化部、図書委員会、渉外部、図書視聴覚部の協力体制のもとに成り立っている行事であり、各組織間の連絡を密にすることが重要である。
- (2) 30 年以上続いている行事であり、「よき伝統を守っていききたい」というお互いの思いを共有していくことと、「本を読むのは楽しい」という雰囲気を大切にする。

5 活動の実際

- (1) テキスト(本)は、P T A文化部の読書会担当者と図書委員生徒がお互いの候

2010 年 10 月 12 日

生徒の皆様
P T A会員の皆様

埼玉県立浦和西高等学校
P T A会長 〇〇〇
P T A文化部長 〇〇〇
図書委員長 〇〇〇

合同読書会(図書委員会・P T A文化部共催)のお知らせ

文化部企画第 3 弾として、今年も合同読書会を行います。合同読書会とは生徒の図書委員会と P T A文化部が共催で行うもので、生徒、保護者、先生が 1 グループ 7・8 人でテーブルを囲み、1 冊のテキストを題材にお互いの感想を語り合う会です。世代を超えてテーブル毎に様々な話題で盛り上がり、一人で読む時とはまた違う読書の楽しさを味わうことができます。

西高ならではの企画として好評のうちに 30 年続いています。生徒の皆様、保護者の皆様、どうぞ奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

< 今回のテキスト >

『阪急電車』有川浩著／幻冬舎

隣に座った女性がよく行く図書館で見かけるあの人だった…
片連わずか 15 分のローカル線で起きる小さな奇跡の鼓動。
乗り合わせただけの乗客の人生が少しずつ交差し、やがて希望の物語が紡がれる。ほのぼのとした暖やかな気持ちで心が満たされるおはなし…

日 時 11 月 16 日(火) 16:00 受付
16:15～18:30
(18:30～16:00 図書読見学可)

会 場 浦和西高校図書館 (軽食付き)

※ 下の申込用紙にご記入の上、10 月 17 日(金)までに担任の先生にご提出ください。
※ 申し込まれた方には、後日テキストをお届けします。
※ 保護者の方はスリッパをご持参ください。

切 り 取 り 線

「合同読書会」参加申込書		
学年・クラス	参加者氏名	どちらかに○をご記入ください
年 組		生 徒 ・ 保護者
年 組		生 徒 ・ 保護者

< 合同読書会の案内 >

補を2～3作持ち寄り、事前の準備会で1冊に決める。（今年度のテキストは『阪急電車』有川浩著・幻冬舎）

- （2）合同読書会の生徒や保護者向けの案内文書を作成し、生徒を通して家庭に配布する。
- （3）提出された申込書を整理し、生徒や保護者、教師をグループ分けする。
- （4）PTA文化部の担当者が進行役となり、グループ毎に感想等について話し合ってもらう。



6 成果と課題

- 世代を越えて話合うことで、より深い読みができる。
- 「本」というものを介在にすることで、普段家庭ではじっくりと話せないようなテーマも取り扱うことができる。
- 自分ひとりの読書では、出会えなかった作品に出会える。本を読むきっかけになる。
- 家庭でも本の話・図書館の話をするきっかけになる。
- 保護者の学校図書館活動への理解促進にも役立つ。
- 本校で読書会を経験した保護者が、兄弟の通っていた他校でも希望して同じように読書会が行われたことがある。
- 課題としては、読書会の参加者（現在 50~60 名）と日常的な図書館利用をもっと増やしたいということがあげられる。

<保護者の感想より> _____

- ・全然話したことのない人とも、同じ本を読むことで共通の感動を得たり、ひとつのテーマについて、違う見方をしている人同士が、気兼ねすることなく話し合える機会を持て、とても新鮮でした。
- ・いろいろな読み取り方、見方、解釈が聞けておもしろかったです。世代による解釈のちがいがとても印象的でした。
- ・一冊の本からいろいろな視点で多くの話題で盛り上がることの楽しさを知りました。
- ・感想を言い合うことも大切ですが、それ以外のふれあいがありました。

おはなし会への親子参加

～ 三芳町立中央図書館 ～

1 概要・目的

「おはなし会」などの行事（読み聞かせ、ストーリー・テリング、ブックトークなど）に、保護者の参加を積極的に勧める。多くの大人に、さまざまなジャンルの良質な子ども本に出会ってもらふことと、本を読んでもらう喜びを体験してもらふことが目的。日々の暮らしの中で子どもと一緒に絵本や児童書を楽しもうとする大人が増えるように願いながら実施している。



＜「としょかん・くらぶ」の親子読書会＞
（小学１・２年生の部）



＜作家講演会の関連事業「長野ヒデ子先生」
の絵本を楽しむ会＞（１～３歳の部）

2 場所

三芳町立中央図書館、三芳町立図書館竹間沢分館

3 準備するもの

- 絵本、紙芝居（当日読むもの）
- おすすめの子ども本（おはなし会の最後に紹介し、借りて帰ってもらう。絵本、読み物、科学の本などと、さまざまなジャンルから選ぶ）
- 導入の手遊びなどに使う指人形・小道具（プログラムに応じて準備）
- 読む本、語るおはなし、紹介した本などの配布用リスト（必要に応じて準備）



＜手袋人形＞

(1) 子ども対象の行事への親子参加を呼びかける。

- ・館内チラシ配布、ポスター掲示
- ・図書館ホームページ、
- ・町の広報誌「広報みよし」
- ・案内ハガキを希望者に郵送

(小学生対象「としょかん・くらぶ」)

は会員制にし、参加希望者が持参した
ハガキに案内記事を印刷して毎月郵送)

(2) 主な行事の開催時間と内容

ア ぐりぐらタイム (当日参加)

開催時間

- ① 6 か月～1 歳児対象 第 1. 3 金曜日
11:00～11:15 10～15 組参加
- ② 2～3 歳児対象 第 1. 3 金曜日
11:00～11:15 10～13 組参加
- ③ 3～8 歳児対象 第 2. 4 火曜日
16:00～16:30 12～18 人参加

内 容

- 野ネズミのぐり、ぐらの手袋人形を使い、
 始まりの挨拶とお約束

※1：絵本『ぐりとぐら』＜中川李枝子文・山脇百合子絵・福音館書店＞の主人公を手袋人形にしたもので、著作権の許諾済み。

※ 2 : 「お口を閉じて静かにさいてね。お母さんたちもご協力くださいね。途中で、あきちゃったり、泣きたくなったお友達は、本と本の間で、そうっとお部屋の外に出ていいよ。また、聞けるようになったら、本と本

- 絵本の読み聞かせ 2 冊、紙芝居の読み聞かせ 1 つ、導入や合間の手遊び 1 ～ 2 つ
- おすすめ本の紹介（多様なジャンルから） 5 ～ 8 タイトル（なるべく複本で揃える）
- ぐりとぐらのお人形で終りの挨拶。
- 読んだ本と紙芝居、紹介した本を貸し出す。



＜館内掲示物＞



＜「としょかん・くらぶ」の案内ハガキ＞



イ としょかん・くらぶ（会員制）

開催時間

- ①カミイ教室＜１～２年生対象＞ 第４土曜日
１０：１０～１１：００ 子ども３５人（親５～８人）
- ②エルマー教室＜３～６年生対象＞ 第４土曜日
１０：１０～１１：００ 子ども４０人（親３～６人）

内 容

- 絵本や物語の読み聞かせ（時にストーリー・テリング） ２０分間
- おすすめ本の紹介（季節やテーマに応じて）８タイトル程度 ２０分間
（多様なジャンルから選び、なるべく複本で揃える）
- ジャンケンで、借りる人を決める。（大変盛り上がる）



※ 紹介された本を競って借りようとする子どもの姿を、保護者に見てもらおう。身近にいる大人が魅力的な本を見つけ出し、それらを子どもに手渡していけば、子どもはどんどん本が好きになるという事実を知ってもらう。

４ エフ・留意点

（１）本選び

- ア 年齢や読む力に応じた質の高い本を選ぶ。子どもを知り、基本図書を広く知っていないと的確な選書はできない。担当職員が継続的に実践・研究を重ねていく必要がある。
- イ 少なくとも２週間前からプログラムを組み、準備を進める。（場当たりの実施は禁物）
- ウ 終了後には、短時間でも反省・評価する会を持ち、子どもの反応なども記録に残し、他の担当者との情報共有化に努める。

（２）本の読み方・紹介の仕方

- ア １冊、１冊を丁寧に読み込み、その本の魅力を自然に伝えるように読んだり、紹介したりする。職員は、熟読、練習、経験を重ねる必要がある。また、本を紹介する時には、同席している保護者も意識して紹介する。
- イ 親を意識した本の紹介の仕方
（ア）乳幼児対象の会で
「この本は、（一か所読んでみて）こんな風に、ことばの響きが楽しい本。お母さんも、ことばを楽しみ、お子さんの反応も楽しんで、読んであげてくださいね。」

(イ) 小学1．2年生対象の会で

「(あらすじ紹介した後で) この本は、1．2年生には少し読むのがむずかしいかもしれませんが。ちょっと大変だなあと思ったら、おうちの人に読んでもらおうといいですよ。長い物語を読んでもらうのはね、『聞く読書』ともいうのよ。聞いているうちに、本を読む力がついていくんだって。聞くってすごく大切なのよ。」

5 成果と課題

- 今の子どもは、習い事や学習塾などで忙しく、親にスケジュール管理をされていることが多い。親を巻き込んで事業を展開させることで、参加する子どもが確実に増えてきた。
- 絵本や子どもの本に興味を持つ親、読み聞かせを続ける親が増えてきた手ごたえを感じる。親子参加を続けてきた親が、図書館や小学校での読み聞かせボランティアを始める事例も多く、子どもの読書環境向上に大きく貢献している。
- こうした取り組みは、職員が専門知識と技術を磨いていないと成功しない。厳しい職員体制ではあるが、職員研修の場と時間を確保しつつける必要がある。

おすすめの本（ブックリスト）の選定

～ 川越市立川越小学校 ～

1 目的・概要

児童の実態を考慮しつつ読書活動を推進するため、ブックリストを作成した。

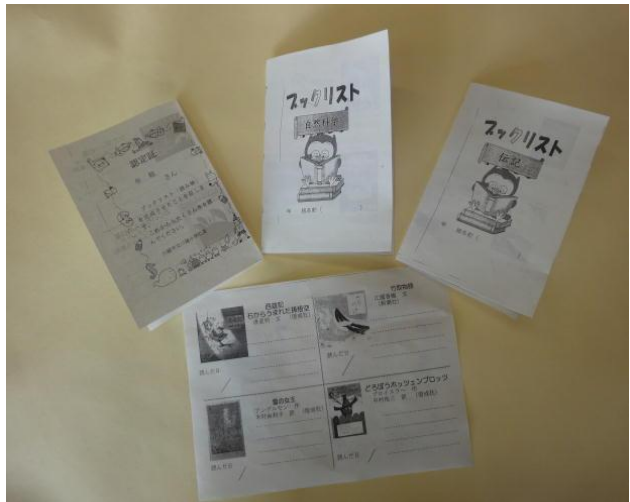
低中学年には、読書の幅を広げるためにバランスの取れた30選のリストを作成し、高学年には、それぞれの児童が自分の興味に沿った本が選べるようにテーマ別リストを作成した。

2 場所

川越市立川越小学校

3 準備するもの

- 「この本、読もう一本はともだち」
(光村図書出版株式会社)
- 「第25回よい絵本」
(全国学校図書館協議会)
- 候補となる図書



＜高学年向きブックリスト・「ミニブック」＞

4 工夫・留意点

- (1) 国語の授業に生かせるよう、教科書に紹介されている本を中心に選定した。
- (2) 低・中学年では、30選のリスト形式にし、好きな本を読む読書から多様な読書に広げられるようにした。
- (3) 高学年では、読書の力に大きな差がある実態を鑑みてテーマ毎のミニブック形式とし、4冊ずつ紹介した。
- (4) 高学年のミニブックに紹介する4冊は、簡単に読める絵本から中学年から読める図書、高学年相当の図書とできるだけ読書が苦手な児童にも取り組みやすいよう配慮した。
- (5) ミニブックの裏に修了証を印刷し、4冊読み終わったら担任から印をもらえるようにした。
- (6) 作成するリストを市立図書館の児童係の方に監修してもらい専門家の意見を取り入れるとともに読み聞かせボランティアの保護者にも関わってもらった。
- (7) ブックリストの本コーナーを学校図書館に設置し子どもたちが手に取れるようにする。

5 活動の実際

(1) 事前準備①

資料の収集

- 国語の教科書（光村）に紹介されている本を「この本、読もう一本はともだち」のポスターやHPのリストをもとに学年毎に候補図書をリストアップする。

（２）事前準備②

低、中学年図書のリストアップ

- リストの本をそろえ、「よい絵本」や他校のブックリストなどを参考に低中学年は３０冊をピックアップする。
（司書教諭・図書整理員）

（３）事前準備③

高学年図書のリストアップ

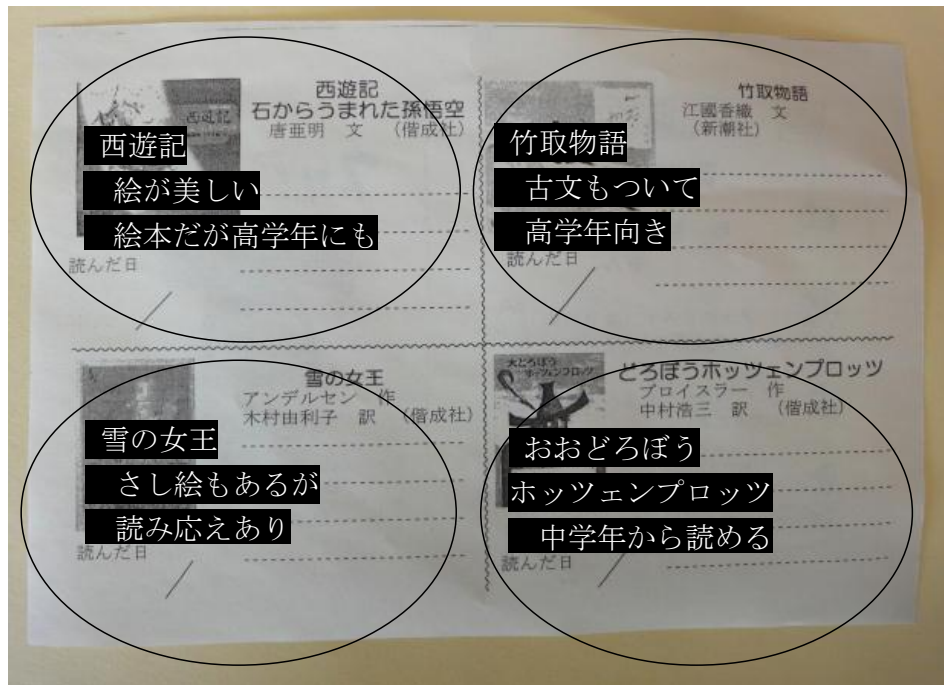
- 児童が興味をもちそうなテーマを決め、テーマにそって、易しい本から徐々にグレードアップできるような組み合わせで４冊の図書の組合せを作成する。
（司書教諭・学校図書館部職員）

（４）選定会議

- リストアップができたところで市立図書館の児童係の職員にリストを見てもらい、選定会議を開く。（司書教諭・市立図書館職員・図書整理員・学校図書館部職員・読み聞かせボランティアの保護者）

（５）作成、活用

- リストを印刷し、各学年の児童に配布。学校図書館におすすめの本コーナーを設置し児童が手に取れるようにする。
- 各学年や学級で活用方法を工夫してもらう。



< 高学年ミニブック「世界のお話」 >

１つのリストで簡単な絵本から中学年でも読める読み物、
高学年向きの本をおり交ぜて紹介した

６ 成果と課題

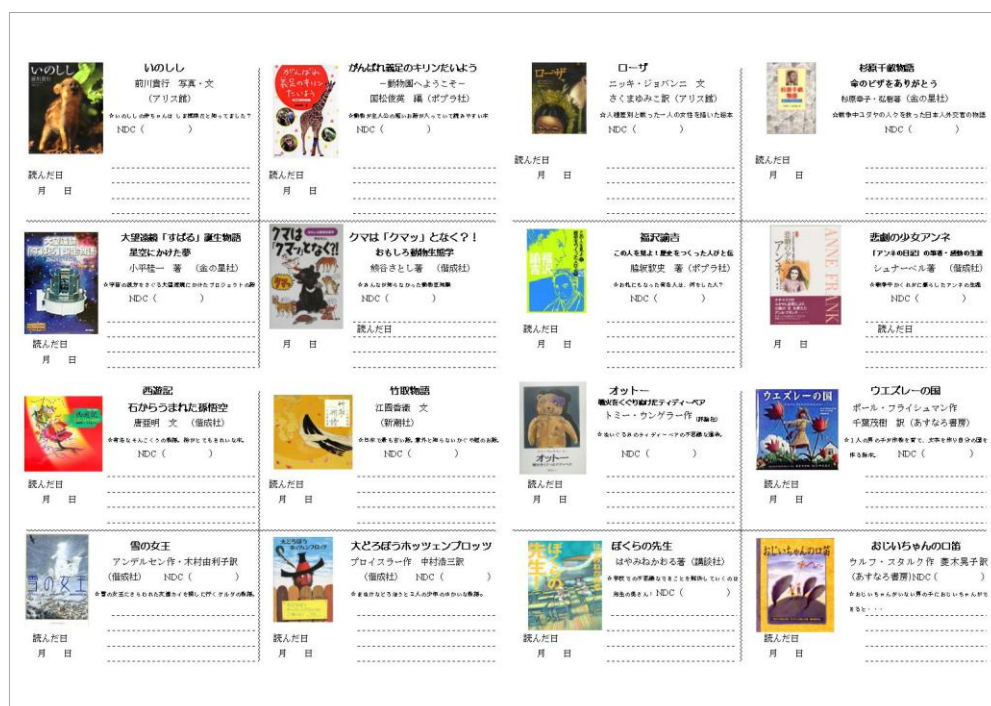
- 平成２３年度実施を予定して現在作成中だが、高学年ミニブックの種類を増やし

ていくことと保管方法が課題となっている。

- 低学年のブックリストや現在使用している「小江戸読書マラソンカード」（読書記録カード）家庭読書カードなどを1つにまとめる読書ファイルのようなものができないかという意見もあり、検討中である。
- 高学年のミニリストは、児童からも紹介して欲しいテーマを募集するなど活動を広げていきたい。
- 30選を読破した児童への賞も検討していきたい。



＜高学年ミニブックのおもて側＞



＜高学年ミニブックのなか側＞

いつもと違う読書をしようプロジェクト

～ 越谷市立光陽中学校 ～

1 目的・概要

読書の傾向は、一人一人違う。しかし、その個人の中では偏りがある。それを少しでも変え、さまざまなジャンルの本に挑戦させたい。そのために、図書委員が身近な大人(教師)へのインタビューを行い、関連本を紹介させる。

2 場所

図書室&廊下

3 準備するもの

- ・ 活動計画を明記したプリント
(職員用・生徒用)
- ・ インタビュー用紙
- ・ 感想・紹介文記入用紙
- ・ 掲示物作成説明用紙
- ・ 模造紙(半分の大きさ)
- ・ 筆記用具(マジック・クレヨン・
絵の具など目立つもの)
- ・ 紹介したい本
- ・ カメラ

4 活動の実際

- (1) 職員に協力を要請する。＜資料1＞
- (2) 担任・副担任の教師への「尊敬する人(できるだけ偉人・歴史上の人物)及びその人に関連する本」の聞き込み調査を行う。

学年以外(校長・教頭・教務・養護)
の教師・・・3年生担当

- (3) 聞き込み調査をもとに、本を探す。・・・関連本も探す
- (4) その中から、自分の興味・関心のあるものを選び、読む(夏休み)
- (5) 記入用紙に、基本事項・紹介文・感想などを記入する(夏休み)＜資料2＞
- (6) 掲示物を作成する(9月)＜資料3・4＞
- (7) 掲示する(読書週間 10月～11月)
- (8) 関連本を、図書室に展示する

資料1

いつもと違う読書をしようプロジェクト

2010/07/09
文責 小日向

チーム構成員

2010年前期図書委員、荻達先生、小日向先生

目的

読書の傾向は、一人一人違う。しかし、その個人の中では偏りがある。それをいくらかでも変えていき、さまざまなジャンルの本に挑戦してもらおう。

活動計画

- ① 担任・副担任の先生への
「尊敬する人(偉人・歴史上の人物)とその人に関連する本」の聞き込み調査
学年以外の先生・・・3年生担当
校長先生→() 教頭先生→() 飯田先生→()
藤井養護教諭→()
- ② 調査を元に、本を探す・・・関連本も探す。
- ③ その中から、自分の興味・関心のあるものを選び読む・・・夏休み
自分が調査した本を、聞き込み調査に協力してくださった先生に知らせる。
→その先生が読んでくださるよう紹介する。
- ④ 全校生徒に向けて発信する・・・夏休み明けに掲示物作りをし、読書週間で発表する。

日程

7月9日(金)第1回会議
7月14日(水)までに聞き込み調査をする
7月15日(木)16日(金)
本探し・・・早朝7時～8時と放課後の30分程度は図書室使用可能
7月20日(火)終業式後第2回会議
8月24日(火)第3回会議予定
9月 第4回会議と掲示物作成

先生方へお願い

上記の内容で図書委員が、聞き込み調査を行います。来週初めの3日間です。偉人や歴史上の人物でいいなあ、尊敬できるなあと思う人物とそれに関わる本を考えておいてください。超多忙中とは存知ですが、何卒ご協力の程よろしくお願いいたします。

＜資料1・職員への協力要請＞

- (1) 担任・副担任の教師へのインタビューが土台となるので、職員会議等で協力を要請しておく。
- (2) 長期にわたる活動なので、滞ることがないように図書委員に呼びかけをする。
- (3) 図書委員の活動と並行して、部活動・学校行事（合唱コンクール）が控えているので、プリントなどわかりやすく取り組みやすいものにする。

[illegible]

＜資料 2・紹介文などの記入用紙＞

資料 4	いつもと違う設置をしようプロジェクトチーム 年 組 氏名
------	---------------------------------

いつもと違う読書をしようプロジェクト③

『前回までに書いた原稿を基に、掲示物を作ろう』

- ① 紙の大きさ 横造紙半分
- ② 筆記具 マジック・クレヨン・絵の具など目立つもの
- ③ 参考にするもの 前回と前々回に書いたプリントを利用する
- ④ レイアウトは自由

条件<わかりやすい><見て楽しい><読みたくなる>

内容条件	あ 読み込み調査の結果 ①～④ い 自分が選んだ本（書名・著者名・出版社名） う 紹介文 え その本の表紙またはその人物の顔の絵など
------	--

- ⑤ 作成にとれる時間
 - ・9月の委員会活動の日（9月3日）
 - ・10月の委員会活動の日（10月15日）に必ず仕上げていること！

【特に3年生は、自分のぺんぎょうとのかわあひを育てて特徴的に描めること】

ですから、各自時限を見つけて作成してください。10月27日から読書週間が始まるのでそれまでに仕上げ掲示します。

- ⑥ 掲示場所 各階廊下を予定しています。

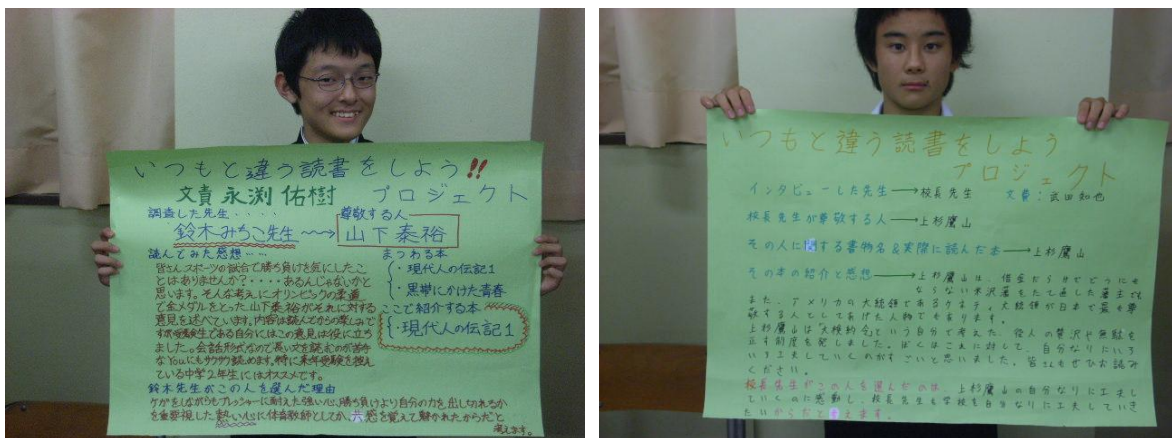
＜資料 4・掲示物の作成について＞

6 成果と課題

- (1) 担任や副担任などとの会話から図書委員自身が興味をもつことが大切であることから、事前の教職員への周知徹底が必要である。今回は、準備期間が少なかったため先生方に尊敬する人・関連本を選ぶ時間的・心的ゆとりがなかった。また、人物に偏りが出てしまった。(NHK 大河ドラマなど話題の人物が多かった)
- (2) 図書委員自身は、他の活動との同時進行があったが、この活動の意図をよく理解して読書に取り組んだ。
- (3) 図書委員による掲示物の説明・放送などによる読み聞かせなど、他生徒への働きかけに工夫が必要である。
- (4) 完成した掲示物によって、教師と生徒の会話、生徒同士の会話、教師間の会話に本が話題が加わった。
- (5) 生徒の書いたもの一つ一つに目を通して生徒に戻し、また検討を重ねていくこの方法は、図書委員の力になるが、それだけ時間もかかる。計画をしっかりと立てて行うことはもとより、周りの人の協力も必要になる。読書活動を学校全体で推進していく体制は必要不可欠な要素である。そのための司書教諭の活動時間確保が大きな課題となっている。



< 掲示の様子 >



< 作成した掲示物 >

いつもと違う読書をしようブックトーク

1 目的・概要

図書室で生徒が選ぶ本の多くは、文学が主流である。調べ学習で、その他の分類の本にも手を伸ばすことはあっても、日常生活での読書には偏りがある。図書室の本を有効利用するためにも、図書室の本を紹介する場面が必要となるため、生徒自身によるブックトークを設定する。

2 場所

図書室、教室

3 準備するもの

- ・ 活動計画を明記したプリント
(職員用・生徒用)
- ・ 感想・紹介文記入用紙
- ・ 掲示物作成用紙
- ・ 紹介したい本
(図書室にある文学以外の図書)
- ・ カメラ

4 活動の実際

- (1) 職員へ協力を要請する。
- (2) ブックトークについて目的ややり方を生徒に説明する。
- (3) 本を探す。・・・図書室にあるもの
- (4) 冬休みを利用して読む。
- (5) 記入用紙に、基本事項・紹介文・感想などを記入する。(冬休み)(資料8)
- (6) 掲示物を作成する。(1月)
・・・掲示はブックトーク実施直後から2月末まで
- (7) ブックトークを行う。(1月～2月)
- (8) 関連本を、図書室に展示する。

5 工夫・留意点

- (1) 職員会議等で職員に協力を要請する。
- (2) 冬休みにかかる活動なので、滞ることがないように呼びかけをする。
- (3) 3年生は受験、1・2年生は学年行事が控えているので、プリントなどわかりや

資料8		
いつもと違う本を紹介しようブックトーク		
担当者(年 組 氏名)		
① 冬休みに読む本はこれだ！(分類番号2,3,4,5,6)		
書 名	著 者 名	出 版 社 名
② 冬休みに読んだ本はこれだ！		
書 名	著 者 名	出 版 社 名
③感想		
.....		
.....<中略>.....		
④紹介文(原稿)		
.....		
.....<中略>.....		
.....		
冬休みにこの魅力あふれる紹介文を暗記しておくこと。		

<資料8・個人用の記入用紙>

すぐ取り組みやすいものにする。



＜図書室でのリハーサル＞

6 成果と課題

- (1) 図書紹介の取組として、カードによる図書の紹介（授業・図書だより）・いつもと違う読書をしようプロジェクトを行ってきたが、活動が点から広がらなかったことから、今回のブックトークを計画した。
- (2) 3年生は受験期ということもあり活動が計画通りに進まなかったが、1・2年生の委員は意欲的に活動した。
- (3) ブックトークの実施は、1月下旬から2月上旬の朝の読書の時間を利用した。10分間で行うためには、リハーサルが必要となるが、その時間設定が難しかった。また、この時期はインフルエンザの流行もあり計画通りに進まない可能性があることも憂慮事項である。
- (4) ブックトークで紹介した本は全て図書室にあるものに限定したので、図書室での紹介を行っていく。また、図書便りでの紹介と掲示も行う。



＜教室でのブックトーク＞

読書感想文を読もう

～ 越谷市立光陽中学校 ～

1 目的・概要

夏休みの課題として、読書感想文を出すことが多い。中学生にとって、400字詰め原稿用紙に5枚以内という量は決して少なくない。かなりの生徒があらすじに少しだけコメントを入れて終わらせるというパターンで書いている。感想が書かれていてもどこが焦点なのかわからないものも多い。そこで、客観的に自分の感想文を見直す手がかりとして考えたのがこの方法だ。

2 場所

教室

3 準備するもの

読書感想文を書こう（資料5）

原稿用紙

読書感想文を読もう（資料6）

4 活動の実際

- (1) 読書感想文を書くための手順を、ワークシートを使って説明する。
- (2) 夏休みに読む本を決める。
- (3) ワークシートを記入させる。

資料5-1

本を読んで、感想文を書こう！

年 組 番 氏 名

第1段階 読書感想メモづくり

書名		
著者名 (編者名)	出版社名	
主な登場するものとの関係		
著者(編者)について		
主な内容		
印象に残った部分(表現・登場人物の生き方から学んだこと・疑問に思ったこと・自分との比較・考えたことなど)・・・ここに3行くらい書けると、本文を書く時に助かになる！		

<資料5・読書感想文を書こう>

資料5-2

第5段階 推敲する
第6段階 清書する！
1と6を踏まえて行くと、読書感想文の形になる。

第2段階 材料を選ぶ
第3段階 表のメモの印象に残った部分を基にして、何を中心に書くか選ぶ。
構成を考える
第4段階 使いたいメモをとるの位置に付けるか、順番を考える。
書く！(この部分を利用して良いが、清書は原稿用紙に行うこと)

- (4) 読書感想文を書かせる（夏休み）。
- (5) 読書感想文を読み合う。
- (6) 読んだ読書感想文の、心に残ったところを書き出させる。（ワークシート）
- (7) 自分の感想文を読み直す。
- (8) 自分の感想を、150字程度に書き直す。

資料6	
読書感想文を読もう 十月二〇日から読書週間！そこで、 重体みの課題である読書感想文を隣の人に読んでもらおう 隣の人の名前を聞へ さん、フルネーム、漢字を使って書く 隣の人の読書感想文で印象に残ったところを書き抜こう。 自分の感想文で、良いと思うところを選んで、短い感想に書き直してみよう。 私（ぼく）は、こう思いますが、あなたはどのように感じますか。 読んだ本の書名（ ） 著者名（ ）	名前 組

＜資料6・読書感想文を読もう＞

5 工夫・留意点

- (1) 夏休みの課題として、読者感想文を出す際に、事前に指導をする。
いきなり原稿用紙を目の前に書き始めるのではなく、ワークシートを配り準備をさせる。（0.5時間指導）
- (2) 提出されないと自分の座席の隣の人が困ることになるので、全員に提出するよう呼びかける。

6 成果と課題

- (1) 臨席の子どもの感想文を読むということで、恥ずかしさもあったようだ。しかし、心に残ったところを書き出すことによって、自分の文章が相手にどのように感じられているかを認識できた。そして、自分が本当に言いたかったことを明確にすることの重要性を理解した。
- (2) 自分の読書感想文を短く書き直したことにより、あらすじのみで構成されていた読書感想文が未熟であったことを理解した。
- (3) ワークシートの締めくくりは、「私はこう思いました。あなたはどのように感じますか」という文章で統一したので、このあとの展開としては、同じ本を読んでいる者同士での意見交換を考えることができる。

読書週間クイズの実施

～ 県立春日部東高等学校 ～

1 目的・概要

普段あまり図書館を利用しない、本を読まない生徒に向けて、図書館に興味・関心をもってもらうことをねらい、生徒図書委員会が主催して行う。より多くの参加をねらい、教師や生徒会長、部活動の部長などに協力を依頼し出題してもらう。

2 場所

県立春日部東高等学校図書館

3 準備するもの

- 景品購入のための図書委員会予算確保
- 読書週間ポスター（教室掲示用、校内掲示用、図書館掲示用）
- 問題依頼用紙
- クイズの問題
- 回収箱
- 表彰式への案内状
- 景品

4 工夫・留意点

- （1）事前の広報を広く行い、読書週間にクイズを行うことの周知徹底を図る。
- （2）出題してもらう人の選定を工夫する。（クイズは10問なので10人をお願いする。）
- （3）表彰式を行い、イベント性を高める。
- （4）表彰式を行う日に新刊案内を掲載した広報紙「Lib」を発行し、読書啓発を図る。

5 活動の実際

- （1）11月の第1週を読書週間として定め、その週に「読書クイズ」を行うことを図書委員会活動の年間計画に盛り込む。
- （2）事前に図書委員会を開き、担当の生徒で役割分担する。

役割・・・○ ポスター担当者	○ クイズの問題依頼担当者
○ 問題作成者	○ 表彰式の司会
○ 景品の買い出し	○ 表彰式案内状の作成

ライブラリークイズ

以下の問題で紹介している本は東高校の一部の先生や生徒のオススメ本です。
あなたは誰がどの本をオススメしているのかわかりますか？

- 問1 『数学的にありえない』 《著者》 アダム・ファウアー
[感想] タイトルにひかれて買いました。数学オンチでガチガチの文系の自分でも読みやすく、上・下巻一気読みしました。新感覚のサスペンスでもしよかったです。
- 問2 『中原の虹』 《著者》 浅田 次郎
[感想] 中国清朝末期、白虎張こと張作霖を主人公とした小説ではあるが、混沌とした時代に生きた様々な人間模様を描くすさまじいその生きざまに心が震る。
- 問3 『THE FIGHT』 《著者》 ノーマン・メイラー
[感想] モハメッド・アリが当時無敵といわれたジョージ・フォアマンを破り、ボクシング世界ヘビー級チャンピオンに返り咲く試合のドキュメンタリーです。
- 問4 『夜は短し歩けよ乙女』 《著者》 森見 登美彦
[感想] ギルガ・吉本邦・魔風邪etc... 奇想天外な「先輩」「後輩」の恋物語。私も大学生に戻りたいくなりました。
- 問5 『クレアの絵本』 《著者》 パウル・クレア画/谷川 俊太郎・詩
[感想] クレアは「目に見えないものを見えるようにするの絵」といいます。俊太郎はクレアの言った見えないものを言葉にして私たちに伝えてくれます。2人のコラボレーションはとても素晴らしい一言。
- 問6 『ブレイブストーリー』 《著者》 宮部 みゆき
[感想] 映画化もされていますが、本で読んだ内容の方が面白いと思います。この作品の映画しか見ていない方は、是非文庫本も読んでみるといいと思います。
- 問7 『名人伝』 《著者》 中島 敦
[感想] 山月記であじみの中島敦が書いた作品です。終盤に向かうにつれ、話の展開が意外な方向に進んでいくので飽きずに読めます。
- 問8 『告白』 《著者》 湊 かなえ
[感想] 良い意味の悪さです。
- 問9 『孤高の人』 《著者》 新田 次郎
[感想] 加藤 文次郎さんの強い意志を感じる事ができます。
- 問10 『特別法第001条 DUST』 《著者》 山田 悠介
[感想] 近年のニート問題を題材にした作品。山田悠介らしい人間の本性と独自の世界観が良かった。
【解答群】
A 奥田先生 B 高島先生 C 柴田先生 D 宮部先生 E 栗林先生
F 森内 俊太くん (陸上部部長) G 高塚 愛実さん (図書委員会委員長) H 水谷 友紀さん (生徒会長)
I 杉原 大輝くん (男子バレー部部長) J 深田 安莉さん (写真部部長)

解答欄	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10

年 組 番 氏名
ご参加、お待ちしております

<図書委員が作成したクイズ用紙>

- (3) ポスター以外でも、広報紙「Lib」などを使い、広報を行う。
- (4) クイズは、誰がどの本を紹介したかを当ててもらおうというもので、教師5名、生徒5名に1問ずつ依頼し、合計10問とする。(生徒は、生徒会長や図書委員長のほか、部活動の部長から人選する。)
- (5) その本の感想をヒントになる言葉を入れて問題を作成する。
- (6) クイズで出題された本を図書館内に展示し、本を読んでもらえるように啓発を行う。
- (7) 本はクイズ期間中貸出をせずに読書週間終了後から貸出を行う。
- (8) 表彰式の案内は広報紙「Lib」で行い、周知を図る。
- (9) クイズの参加者数や結果を広報紙「Lib」や図書委員会広報に掲載する。
- (10) クイズの解答を図書館内に掲示する。

6 成果と課題

- 図書委員のイベント班と執行部を中心に取組んだが、図書委員会全体の活動としての意識が薄くなってしまった。
- 図書館と1年生の教室が同じ階にあるため、1年生の参加者が多かった。他学年の参加者を増やす工夫を考えたい。



[目次へ](#)

学校へ出向いてのブックトーク

～ 三芳町立中央図書館 ～

1 概要・目的

町立図書館司書が町立小中学校の授業に出向き、学年や読む力を考慮して選んだ図書館のおすすめ本をブックトーク（紹介）する。子どもの読書意欲を刺激し質の高い読書へといざなうことを目的とする。また、子どもや教師に町立図書館を身近に感じてもらう利用の促進につなげることも目的とする。

※ 平成22年度の実績・・・小学校1～6年生 77クラス

中学校1～2年生 6クラス

計 83クラスに実施



＜藤久保小学校5年生にブックトーク＞
テーマ「小さくてもスゴイ！」



＜三芳中学校1年生にブックトーク＞
テーマ「命のノート」

2 場所

三芳町立小中学校（学校図書館、教室）

3 準備するもの

- ブックトークする本
- ブックトークする本のリスト（児童生徒に配布）
- 台本、タイムテーブル
- 机、あれば展示スタンド（紹介した本を表紙が見えるように並べていく）
- 効果的に紹介するための小道具（人形、カード、ホワイトボードなど、プログラムに応じて準備）

4 活動の実際

（1）日程調整

ア 学校への呼びかけ（4月初旬、学校図書館司書を通じて小学校5校、中学校3校に）

イ 受付（司書教諭、図書主任、学校図書館司書などを通じて、申請を受ける）

ウ 訪問日と担当者決定（毎年、5月末には、年間スケジュールがほぼ決まる）

（2）事前の準備

ア 紹介する本（6～8冊）を決め、本ごとに紹介する手法を考え、順番を決める。

イ 台本と、タイムテーブルをつくる。

ウ 必要に応じ、小道具を用意する。

エ 練習し、所要時間を計る。→ 台本、タイムテーブルを再検討。

オ その日紹介した本のリスト「ちゅうおうとしょかん 本のコマーシャル」を作成。

カ 練習し、仕上げる。

キ 紹介する本を、訪問先の学校図書館に団体貸出する処理を済ませる。

（3）当日

ア 会場設置（学校にこちらの要望を伝えて用意してもらう）

○ 実施者と子どもの間に、机などの障害物は置かない。カーペットか椅子に、なるべく小さくまとまるように扇形に座らせとよい。

○ 子どもの目線に気が散るようなもの（出入り口など）が入らない向きに座らせる。

○ 日差しが強いときは、窓のカーテンを引く（絵や写真が反射して見えにくい）。

○ 実施者の脇に長机などを用意。（紹介した本を順番に並べる机）

イ ブックトーク実施。

読み聞かせ、ストーリーテリング、あらすじ紹介など、いろいろな手法でメリハリをつけて紹介していく。途中、タイムテーブルを確認しながら時間を調整し、定時で終わるよう努める。

ウ 紹介した本を学校図書館に貸し出す。子ども全員に「ちゅうおうとしょかん 本のコマーシャル」を配布し、紹介した本は町立図書館に複本で用意していると伝え、来館をすすめた上で終了。



5 エフ・留意点

(1) 本選びとプログラムづくり

ア 年齢や読む力に応じた質の高い本を、さまざまなジャンルから選び、メリハリのきいた内容にする。同学年とはいえ、読む力には差があるので、難易度に幅をもたせる心配りが必要。

イ 例えば、高学年向けのプログラムは、社会問題を扱ったものなどの重い内容の本が多くなりがちだ。ナンセンス絵本を読み聞かせたり、ゆかいな昔話を語ったりする「息抜き」となるプログラムを入れると、魅力的なブックトークになる。

(2) 本の紹介の仕方

ア ブックトークは、ライブである。台本を丸暗記するのではなく、子どもの反応を受けながら、自分の生きたことばで話すこと。「この本はおもしろいよ！」というこちらの気持ちが伝わらないと、子どもの心はつかめない。

イ 「受けてよかった」と、聞き手を満足させる楽しいブックトークにすること。数冊紹介した中で、少なくとも1冊（又は1話）は丸ごと読むなどして、「本とは面白いものだ」という感動を伝えてやると、ほかの本も読みたくなる。

ウ 1冊、1冊にあった方法で紹介し、メリハリをきかせたプログラムにする。全部が「さて、続きはどうなるでしょう？」という紹介方法では単調すぎて飽きられてしまう。

<紹介方法はいろいろ。本の魅力を殺さない方法を探そう！>

- * 一文を読む、または、途中まで読む。
- * 一つの絵（写真）だけを見せる。
- * あらすじを話す。（どこまで話すか、どこでやめるかが決め手）
- * 挿絵や写真を効果的に見せながら説明する。
- * 一冊まるごと読み聞かせる。
- * 一話をまるごと語る。（ストーリーテリング）
- * その他いろいろ創意工夫（クイズ方式、本に載っている手品をしてみせるなど）

6 成果と課題

- 繰り返し実施するうちに、子どもは確実に本に興味を示すようになるし、読もうとする子が増えていく。
- 教師たちに、大人の努力次第で子どもは本に興味を示すようになる、という事実を伝えることもできる。ブックトークがきっかけで、町立図書館から学級文庫用に団体貸出サービスを受けるようになった教師も少なくない。
- 図書館の専門性がアピールできるので、学校からの相談も増え、司書連絡会議などの連携が円滑に行えている。
- この取組は、職員が子どもを知り、基本図書を広く知り、的確な選書を行い、技術を高めていかないと成功しない。厳しい職員体制ではあるが、職員研修の場と時間を保証し続ける必要がある。

VI 研究のまとめ

読書によって培われる国語力や読解力は、あらゆる学びの基礎力である。これらの力を培う読書活動の活性化は、「確かな学力」の向上を図るうえでも極めて重要である。

本調査研究において、読書とは読み物を読むことと捉えたが、登場人物の心情や情景を想像したり感性を磨いたりすることにより表現力や創造力を豊かにする。

そのような読書を子どもたちが主体的に身に付けていくことを願い、読書活動推進に関する取組の先行事例や研究協力委員の事例について検討を進めてきた。その結果、分かったことは、読書習慣の形成には子ども時代に本に親しんだ経験が大切であるということだ。読むことを強制するのではなく、読むことの楽しさやすばらしさをいかにして気付かせる（体験させる）かである。そのために、学校、家庭、地域がそれぞれのがんばりを連携させ、一体となって取り組んでいくことが必要である。

子どもは大人の言動や姿勢をよく見ている。「大人が変われば子どもも変わる」と言われるが、読書についても然りである。大人一人一人の読書についての意識を変えることである。大人自身が読み聞かせを聞いたり、読書時間を確保したりし、読書の楽しさやすばらしさを味わうことである。そして、それを子どもに伝える場や機会を設けてもらう。本好きの子どもには本について語り合い、また本を読みたがらない子どもには読み聞かせをする。

本調査研究は、1年間という限られた時間のため、実践を行っての検証まで及ばなかった。しかし、子どもの読書活動推進のポイントを明らかにすることができ、事例を紹介することができた点、また、子どもの読書活動推進に向けての課題として以下のことが残されていることの分かったことは大きな成果と言える。

（課題1）読書活動の推進にかかわる大人について

ア 学校において

司書教諭は「教諭をもって充てる」と学校図書館法に定められている。しかし、職員定数上の裏づけがないため、担任を兼務しての図書館運営となっている。そのため、職務を行う時間が保証されておらず、職務を十分遂行するのがたいへん困難な状態にある。したがって、司書教諭の持ち時数軽減措置をし、職務遂行時間の確保が望まれる。

また、本県では、読書指導と情報教育推進の一翼を担う職としての役割を担う専門知識を持った専任の職員（司書）が公立高等学校に配置されている。小中学校においても、毎日ではないが数校兼務で学校司書のいる市町もある。すべての子どもに読書のすばらしさを体験させるための、専門知識を持った大人の学校図書館への配置が望まれる。

イ 地域において

地域における子どもの読書活動推進の中心となっているのが公共図書館である。読書相談や子どもの読書活動に対する指導だけでなく、読書ボランティアの養成・育成にも大きな力を発揮している。学校や家庭との連携ということから、専門的知

識・技能をもった職員がこれまで以上に必要となる。しかし、司書の採用枠が狭く、専門的知識・技術を持った職員をいかに養成・確保するかということが課題としてある。

ウ 家庭において

読書をする時間の確保など、家庭における読書環境には大きな差がある現状がある。文部科学省が発行している「家庭教育手帳」の中で、“いい本に出会うことは、いい人に出会うことに似ている”として家庭における読書を奨励し、家庭において子どもが読書の楽しさと出会えるきっかけづくりをするように呼びかけている。

本研究の「家読（うちどく）」の事例は、宿題としての取組であったが、家庭を刺激するのに効果があった。そこで、「ノー・メディア・デー」や「家庭読書の日」としてなどを設け、親子で一緒に本を読んだり図書館に行ったりし、子どもが読書の楽しさと出会えるきっかけをつくるよう働きかけていく。そのことが、読書をして感じたり考えたりしたことを親子で話し合うなど、親子の会話を増やし深める契機となり、家庭の教育力向上にもつながると言える。

（課題２）子どもが読みたくなるような本の情報収集と提供について

本は多くあればよいというものではない。古かったり、おもしろみがなかったりして子どもが興味を示さない本はいくらあっても仕方ない。図書館は、予算を縮減され、購入できる冊数が制約されている。その中で、子どもが読みたくなるよう本に関する情報をどのように収集・選書・提供するかということは、読書活動推進の重要なポイントである。

以上の課題を少しでも解決できるように学校、家庭、地域が協力し合い、前述した

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">○ 子どもの読みたくなるような本が身近にある○ 子どもが本にふれる場や時間がある○ 子どもを本好きになるように導く大人や友達がいる |
|---|

という環境を整えるための工夫・努力を継続していくことが私たち大人の責務であると言える。

本報告書が、多くの学校、家庭、地域において、子どもの読書活動推進に役立ち、子どもの読書習慣形成につながるものとなれば幸いである。

資 料

実践名をクリックすると関連資料のページを表示します。

- 1 読書活動に関する校内研修の実施
 - (1) おすすめの本紹介カード
- 2 保護者への読書啓発活動
 - (1) Lib 保護者向け特別号
 - (2) Lib3 号
- 3 ブックスタート
 - (1) ブックスタート・バッグ
- 4 家庭読書「家読（うちどく）」
 - (1) 図書館便り
 - (2) 家庭読書アンケート用紙
 - (3) 職員会議提案資料家庭読書
 - (4) 家読カード
- 5 P T A ・生徒合同読書会
 - (1) 読書会開催案内文書
 - (2) 読書会司会の手引き
- 6 おはなし会への親子参加
 - (1) としょかん・くらぶ案内はがき
- 7 おすすめの本（ブックリスト）の選定
 - (1) 職員会議提案 読書推進プロジェクト
 - (2) ブックリスト
- 8 いつもと違う読書をしようプロジェクト
 - (1) 職員への協力要請
 - (2) 紹介文記入用紙
 - (3) 掲示用
 - (4) 掲示物作成について
- 9 いつもと違う読書をしようブックトーク
 - (1) 個人用記入用紙
 - (2) 掲示用
- 10 感想文を読もう
 - (1) 感想文を書こう
 - (2) 感想文を読もう
- 11 読書週間クイズの実施
 - (1) 職員への協力依頼文書
 - (2) クイズ用紙
 - (3) 広報用紙
 - (4) 参加礼状
- 12 学校へ出向いてのブックトーク
 - (1) ちゅうおうとしょかん本のコマーシャル

対象

本の題名

作者

出版社

[illegible]

「おすすめのわけ」「感動する場面や言葉」「魅力的な登場人物や生き方」などなど、何でも！

[illegible]

推薦者の名前

()

Lib.



～ 図書館とあなたを live で結ぶ情報紙 ～

保護者向け特別号

2010. 5. 15 (土)
発行：春日部東高校図書館

公開授業の際に、図書館も開放しています。

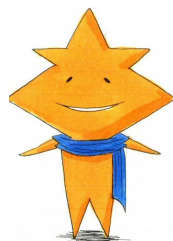
ぜひ、図書館にもお立ち寄りください！

図書館は、1年生の教室の反対側、5Fです！

保護者向け図書館案内



- 保護者の方もお子さまを通じて図書館が利用できます。
- 本・雑誌のバックナンバーは、2週間借りられます。
- 貸出冊数は無制限です。
- 予約のついてない本は、2週間の延長をすることができます。
- 図書館で受け入れた新刊は、新着図書案内「Lib.」でお知らせしています。
- 授業参観、三者面談の際には、保護者の方も書架を直接ご覧いただけます。
お子さんのカードの提示、または出席番号をカウンターで告げて頂ければ、本の貸し出しをいたします。
- その他、お探しの本についてのご相談をお受けいたします。



図書委員がセレクトした
保護者の方へおすすめした
い本、展示中です。

家日和

奥田英朗 著 集英社

夫婦をテーマにした6つの短編集。心の機微をシュールに描くビター&スウィートな大人の在宅小説。

最初のお話「サニーデイ」は、ネットオークションにはまる妻が主人公。ピクニックテーブルを気持ちよく売って、子金を掴むことに成功した主人公が、どんどんはまって、とうとう夫の趣味のギターをオークションに出すことに。ところがそのギターは、高価なもので…。

主人公の夫婦は、30代～40代。この絶妙な大人の関係は、高校生にはわかりません♪ ふふっと笑える奥田さんの本。ストレス解消に、ぜひ、どうぞ。



おとなの進路教室。

山田ズーニー 著 河出書房新社



「ほぼ日刊イトイ新聞」の大人気コラム、「おとなの小論文教室。」は、ご存じですか？この本は、「おとなの小論文教室。」から、自分の行き方や進路決定にかかわる30編を抜き出してまとめたものです。

著者の山田ズーニーさんは、進研ゼミで小論文編集長を長く勤めた才媛。2000年にベネッセを退職し、その後、「ほぼ日刊イトイ新聞」で「おとなの小論文教室。」の連載を始めますが、自分の中でこれから何をしたいのか定まるまでは、気持ちのもやもやを抱えていました。この本は、ズーニーさんの心情の他、読者からの反響など、進路に悩む悲喜こもごもが描かれています。

高校生も進路について悩む年頃。どんな仕事につくかというだけでなく、どんな大人になるかというのも重要です。生徒にも、この本を紹介しようと思っていますが、身近な大人の先輩として、まずは保護者のみなさんにご紹介。進路に悩んでいたあの頃を思い出すと、自分の子どもにもよいアドバイスができるかもしれません。



言葉で言われても納得できないけれど、文字で書かれているものを読むとずんと胸に落ちることってありますよね。図書館の本も、お子さんとのコミュニケーションの一助になれば幸いです♪

Lib



～ 図書館とあなたをliveで結ぶ情報紙 ～

No. 3

2010. 5. 18 (火)
発行：春日部東高校図書館

土曜日の授業参観の時には、たくさんの保護者のみなさんにご来館いただき、とてもうれしかったです。のべ、60名くらいの保護者の方にご来館いただきました。
特にうれしかったのが、1年生のお母さんに、オープンキャンパスできて、図書館で親切にしてもらって、入学できたからうれしいと声をかけていただいたこと。図書館は、本と人をつなぐ場所で、こうやって、人とのつながりが生まれていくんだなと感じました。
誠実にみなさんからの要求に応えていきたいと思います。頑張るね！

それと、図書館からのお便りも、読んでくださっている方が多かったのもうれしかったです。みなさんに、感謝、感謝！

さて、テスト一週間前になりました。司書が不在の時もあるのですが、テスト中も、図書館は16:30まで開館しています。勉強したい人はぜひ、ご来館ください。

2010年4月 貸出統計

1年生	636冊
2年生	274冊
3年生	134冊
教職員	77冊
合計	1,121冊

貸出の多かったクラス・ベスト3



1位	1-5 (150冊)
2位	1-4 (123冊)
3位	2-6 (92冊)

1年生の貸出がすごく多くてうれしいです(〇) 2、3年生も負けずに借りてね！

雑誌の付録
プレゼント大会

5月20日(木)

じゃんけん大会です！

みんな、来てね。

三芳町立図書館
(中央図書館・竹間沢分館)
利用案内

三芳町立図書館
利用登録届

フリガナ (姓) (名) (姓) (名) (姓) (名) (姓) (名)

氏名

住所

生年月日

自宅の電話番号

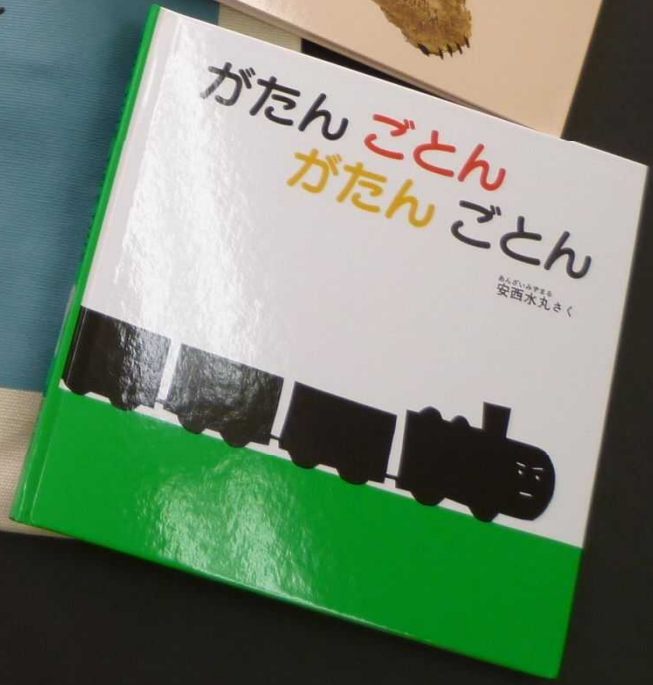
確認方法

利用者コード

※第二住所の記入は別様式に記入

<休館日>

- ・毎週月曜日
- ・毎月末日 (この日が土曜日・日曜日)
- ・国民の祝日 (この日が土曜日・日曜日)
- ・年末年始 (12月28日～1月4日)
- ・特別整理期間 (年間10日以内)



うちどく 家読 しましゅう

H22.10.1

川越小学校 図書館部

1 家庭での読書についての質問にたいしては、「全く読まない」「時々」には五年生以外は60%以上の児童が該当しています。学校では、毎週月曜日に20分間の読書タイムを設けていますが、家庭での読書習慣は、定着していない様子が伺われます。家庭訪問や保護者会などでも「家ではあまり本を読まない」という保護者の声をよく聞きます。保護者の方も読書の必要性や大切さを意識されているようです。

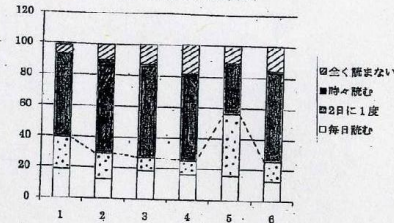
家庭でも自ら本に手を伸ばす児童の育成を図っていきたいと思っています。



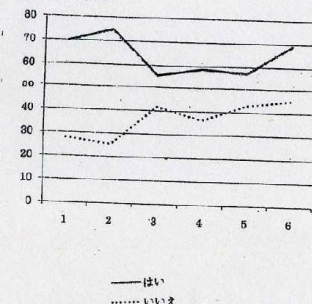
☆1学期には、家庭読書についてのアンケートにご協力いただきありがとうございました。
アンケートの結果について抜粋でご報告します。

読書生活アンケート

1 お子さんは家庭でどのくらい読書をしていますか？



2 読書が好きですか？



2 読書が好きかという質問に対しては、どの学年も半数以上の児童が「好き」と答えています。学年によるばらつきがあり、「いいえ」の割合が学年が上がるにつれ増えていくことが気になります。

それぞれの子どもが魅力的に感じる図書を学校でも紹介する機会を増やしていきたいと思えます。

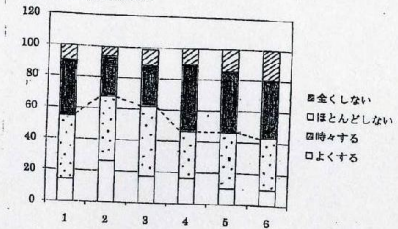
☆ 川越小学校では、10月より家庭読書の取り組みを全校を上げて行う予定です。読書は、子どもたちの心をそだて、たくさんのすてきな日本語を蓄えていく活動です。また、読書に親しむことは、生涯にわたって付き合える友ができるようなものです。読書の秋をきっかけに、テレビを消して家族で本を開く時間を持つてみてはいかがでしょうか。

3 公立図書館の利用については、「全くしない」「ほとんどしない」を合わせて4割～5割の家庭が該当しています。学区内に中央図書館があり、児童担当の職員の方も「ぜひ活用してほしい」と話されています。1回の貸し出しで10冊もの図書が借りられ（中央図書館）学校や家庭にない図書も豊富にあるので、様々な図書に出会うチャンスがあります。足繁く通いたい施設です。

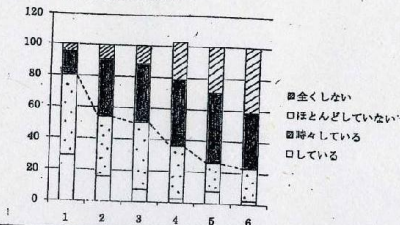
4 親子読書についての質問に対しては、1年生では、8割の家庭で読み聞かせや親子で本を読む時間を持っているのに対して、2年生以上からだんだん少なくなっていく様子が伺われます。大きな学年になるほど「本は自分で読むもの」「高学年の子に読み聞かせなんて」と思われている保護者の方も多いと思います。けれども、大人になっても絵本の読み聞かせをしてもらう事は嬉しい気持ちや優しい気持ちになるものです。ぜひ、幼い頃にしていた読み聞かせを復活させてみてください。我が子に読み聞かせをしてもらう事もステキなものですし、読み聞かせに限らず親子で同じ本を読んで感想を話し合うことも思わぬ子どもの成長や物の感じ方がわかって楽しいものだと思います。

別々の本でも、家族そろって同じ部屋で本を読む時間を持つことも意義のあることです。

3 公立図書館は利用しますか？



4 親子で一緒に読書をしていますか？

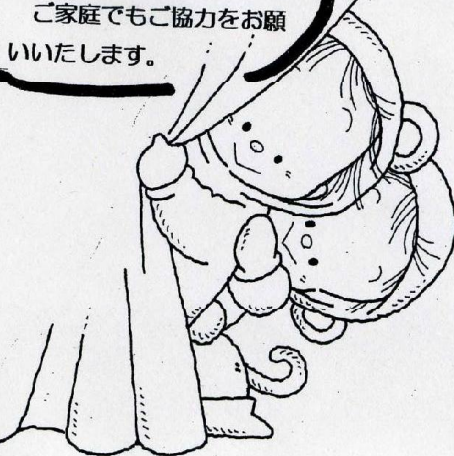


川越小学校 家庭読書の 取り組み

川越小では、10月より
休日の家庭読書を行います。

マンガや雑誌、教科書以外の図書を20分以上家庭で読んで読書カードに色をぬる取り組みです。

ご家庭でもご協力をお願いいたします。



平成 22 年 7 月 5 日

保護者様

児童の読書生活についてのアンケート

川越市立川越小学校図書館部

盛夏の候、保護者の皆様には、本校の教育活動に熱心なご支援をいただきありがとうございます。さて、本校では読書の取り組みをさらに積極的に行っていこうと考えています。つきましては、現在のお子さんの家庭での様子についてアンケートにご協力いただきたくお願い申し上げます。

お子さんの学年（ ）年生 男・女

- 1 お子さんは家庭でどのくらい読書（漫画、雑誌、ゲームの攻略本以外）をしていますか？
ア 毎日読む イ 2日に1度は読む ウ 時々読む エ 全く読まない
- 2 1でア、イ、ウと答えた方は1日にどれくらい読みますか？
ア 1時間以上 イ 30分～1時間 ウ 30分未満
- 3 1でア、イ、ウと答えた方は、どんな種類（分野）の本を読みますか？（複数回答可）
・絵本 ・物語 ・小説 ・自然（動植物・昆虫・宇宙など） ・図鑑 ・歴史
・乗り物 ・科学 ・スポーツ ・伝記 ・料理手芸 ・童話 ・詩 ・仕事
・その他（ ）
- 4 お子さんは読書が好きですか？ はい ・ いいえ
- 5 公立図書館は利用していますか？
ア よくしている イ 時々している ウ ほとんどしていない エ 全くしていない
- 6 5でア、イ、ウと答えた方はどのくらい利用しますか？
ア 毎週 イ 月に数回 ウ 年に数回
- 7 親子で一緒に読書をしていますか？（読み聞かせも含む）
ア している イ 時々している ウ ほとんどしていない エ 全くしていない
- 8 7でア、イ、ウと答えた方はどのくらいしていますか？
ア 毎日 イ 2日に1度くらい ウ 1週間に1度くらい エ 月に1度くらい

ご協力ありがとうございました。7月9日（金）までに担任に提出してください。

9 子ども達に読んでほしいおすすめの本を紹介してください。

題名
何年生向け
内容

10 子ども達の読書生活に対する現状について、どう思われますか？自由にお書き下さい。

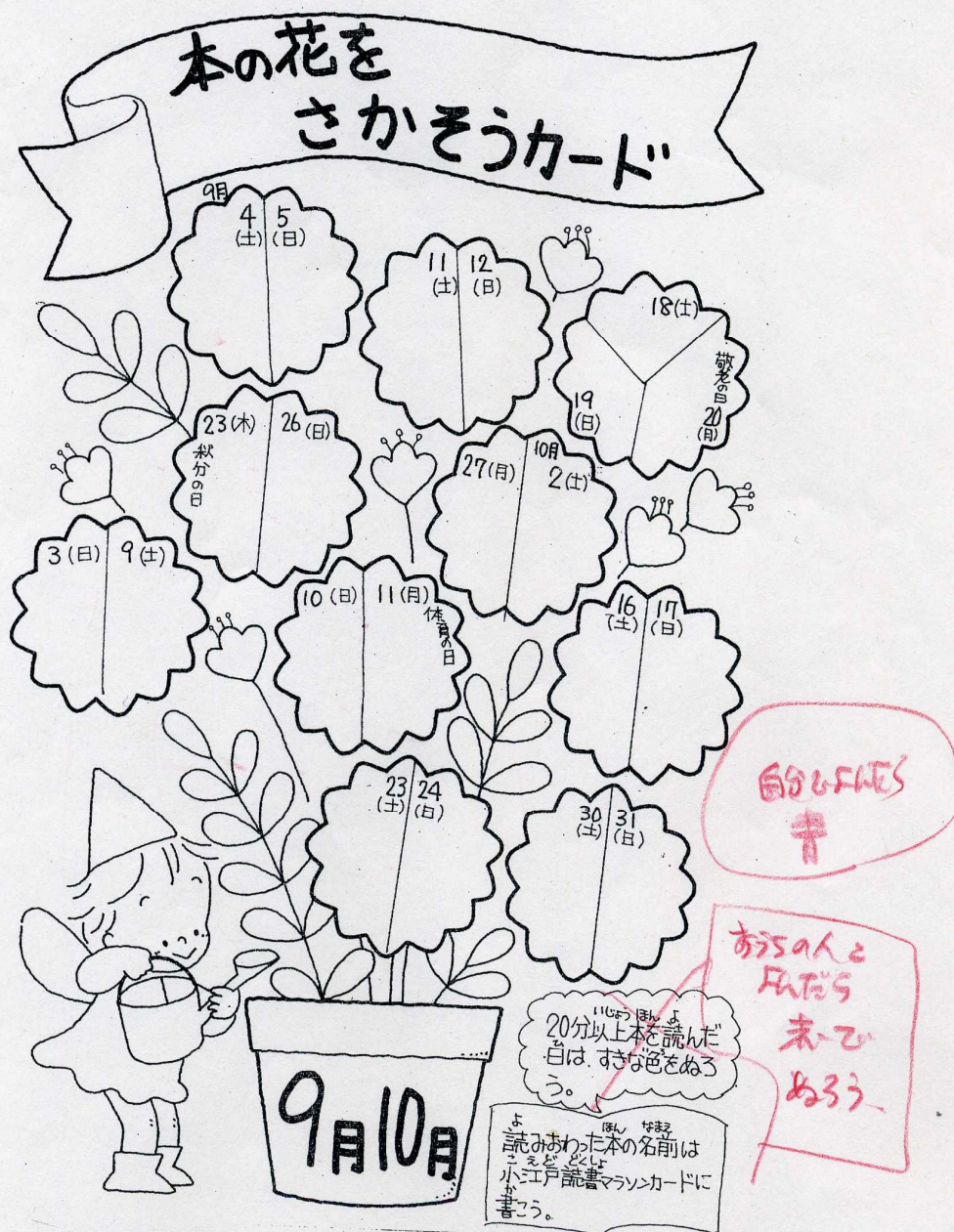
ご協力ありがとうございました。7月9日（金）までに担任に提出してください。

読書推進プロジェクト 家庭読書の取り組みについて (案)

平成 22 年 9 月 27 日

先日の「家庭に向けての読書アンケート」の結果から、学校では本を読むが、家庭で本を読んでいる児童が少ないという実態が分かった。この結果から、家庭読書を推進するための提案をします。

- ① 土日に 20 分くらい読書をする宿題を出す。
- ② 音読カードのようなカードに記録をして、月曜日に提出。担任印を押す。
- ③ できれば保護者にも一言書いてもらったり、親子で読書ができるようにしたり推進していく。



家庭読書カード

10.11月

10/2 (土)	10/16 (土)	10/31 (日)	11/3 (土)
10/3 (日)	10/17 (日)		11/4 (日)
先生	先生	先生	先生
10/9 (土)	10/23 (土)	11/3 (水)	11/20 (土)
10/10 (日)	10/24 (日)	先生	11/21 (日)
10/11 (月)		11/7 (日)	先生
先生	先生	11/8 (月)	
	10/30 (土)	先生	
2H	B	1B	T

20分以上読書をして
好きな色をぬりましょう。

よ ほん なまえ かんそう
読んだ本の名前と感想は、
小江戸読書マラソンカード
に書いておきましょう。



ねん
年

くみ
組

なまえ

5%方眼

か てい どく しょ
家庭読書カード

11. 12 月



30分以上読書をして
20分以上読書をして
すきな色をぬりましょう。

よ ほん なまえ かんそう
読んだ本の名前と感想は、
こゑどくしょ
小江戸読書マラソンカード
か
に書いておきましょう。

年

組

名前

生徒の皆様
PTA会員の皆様

埼玉県立浦和西高等学校
PTA会長 朝田 藤子
PTA文化部長 西 貴子
図書委員長 松本 梨沙

文化庁企画第3弾として、今年も合同読書会を行います。合同読書会とは生徒の図書委員会とPTA文化庁が共催で行うもので、生徒、保護者、先生が1グループ7・8人でテーブルを囲み、1冊のテキストを題材にお互いの感想を語り合う会です。世代を超えてテーブル毎に様々な話題で盛り上がり、一人で読む時とはまた違う読書の楽しさを味わうことができます。

< 今回のテキスト >

隣に座った女性はよく行く図書館で見かけるあの人だった…
片道わずか15分のローカル線で起きる小さな奇跡の数々。
乗り合わせただけの乗客の人生が少しずつ交差し、やがて希望の物語が
紡がれる。ほのぼのとした爽やかな気持ちで心が満たされるおはなし・・・

[illegible]

- * 下の申込用紙にご記入の上、10月17日（金）までに担任の先生にご提出ください。
- * 申し込まれた方には、後日テキストをお届けします。
- * 保護者の方はスリッパをご持参ください。

----- 切 り 取 り 線 -----

学年・クラス	参加者氏名	どちらかに○をご記入ください
年 組		生 徒 ・ 保護者
年 組		生 徒 ・ 保護者

読書会 司会の手引き

司会の主な仕事は

- 1 読書会の司会進行をする。
 - 2 班のメンバーに本を読むよう呼びかける。
- の2 つです。

1 読書会の司会のやり方について

《読書会の流れ》 * 時間は目安

♪ 始まりのチャイム ♪

5 分 **はじめの一言**

↓ 全員に、テキスト 全体について感想を言ってもらう。

40 分 **話し合い**

↓ 発言が特定の人にかたよらないようにして、感想や意見を引き出す。

↓ ☆この部分の質問を考えます！

5 分 **終わりの一言**

↓ 読書会が終わったの感想、または今回のテキスト について話し合っ

↓ ての感想を言ってもらう。

♪ 終わりのチャイム ♪

☆ 話し合いの部分の質問を考えるには？

1. テキストを熟読する。できれば2 回以上。
2. 読みながらメモをとる。(付箋 (ポストイット等) を使うと便利)
【メモを取るときの観点】
 - A. 気に入った文章(断片でもいい)
 - B. 登場人物の名前(関係図等も有効)
 - C. 疑問に思った箇所(誰かに質問するつもりで)
 - D. すごく納得いく考えの箇所(共感する人を探すつもりで)
 - E. 反論したい箇所(共感する人を探すつもりで)
 - F. その他、心が動いた箇所
3. メモをもとにして質問を考える。
【質問と話題の立て方…三分類と四選択】
 - a. 「どう思ったか？」 印象による感想 (初めの一言などで使う)
 - b. 「どう感じたか？」 感覚による感想 (「この人物についてどう思いますか？」 など、手軽に聞ける)
 - c. 「どう考えたか？」 思索の結果による感想 (深く考えた自分なりの意見)

三分類

 - a. 「好きか嫌いかわかるか？」 人物・行動
 - b. 「するか・しないか」 その場の自分を想定して

四選択

 - c. 「わかるかわからないか？」 理解度の個人差
 - d. 「良いか悪いか？」 価値判断

☆ 質問は「主題（作品のテーマ）」にかかわる「重い」質問と、その場を和やかにし、みんなの心を開くような「楽しい」質問を混ぜること。

「重い」質問がないと読書会をしたという充実感・達成感が生まれない（普段のおしゃべりと同じになってしまう）逆に「重い」質問ばかりだと国語の授業のようになってしまい、楽しめないため。

☆ 日常の学校生活（クラス・部活・登下校）や今までの経験、家族・友だち・先生の話、ドラマ・映画・最近のニュース等身近な話題を活用しよう。

《質問の仕方のコツ》

①「はい、〇〇さん」、「では△△さん」というのでは授業のようになってしまう。

例えば「このところで私はこんな風に思ったんだけど、みんなはどう思うかなあ」「私は前にこれと同じ経験をしたことがあって、それは～略～。みんなはどう？」など自分の方から具体的にイメージしやすい形で話すと話題がふくらむ。

②いつも司会から質問するのではなく、誰かの意見や話に対して「今〇〇さんが話してくれたけど、みんなはどう思う？ △△さんはどう？」というふうに意見を橋渡しする方法を使うとよい。

③ただ順番に指名するのではなく、自然な形でばらけた形になるよう、質問する人を選ぶ。（順番を読まれると後の人ほど緊張感が途切れてしまうため）

※ 最後に…質問する時には顔を上げて相手をちゃんと見て話すこと！

いろいろと大変なことも多いですが、読書会司会の経験は今後いろんな場面で役に立つ筈です。ぜひ頑張って取り組んでください。

GOOD LUCK !

読書会 司会打ち合わせのための資料

1. 質問づくりのコツなど

- メンバー全員が話し合いに参加できるようにする。自分の班ではどんな話題なら盛り上がるか考えながら質問をつくる。テキストの内容だけでは盛り上がりそうもなければ、本の内容に関連した雑談を交えるなどして、楽しくできるようにする。
喋ってくれそうもない人がいたら、その人専用の質問を考えてみる。
質問例：登場人物の言動に関して「ここは〇〇さんぽいと思ったけど、自分は思う？」
「こういう人、好き(嫌い)でしょ？」など
- 誰でもすぐにわかる箇所、質問をした時にどんな答えが返ってくるかが簡単に予測できてしまう話題は最初の方で使い、後半はちょっと難しい、何だかよくわからない、という箇所を話題にする。
(答えやすい質問はすぐに底が割れてしまうのでつまらない。わかりにくくて、みんながそれぞれに違う意見を出す方が話は盛り上がるし面白い)
なるべく、自分がわかりづらいところ、疑問に思う箇所をさがして、「私はこの所がよくわからなかったんだけど、わかる人がいたら教えてください」という感じで聞くと良い。
- 質問が作りづらい時は、本の内容そのものでなく、作者の話をするのも一つの方法。
質問例：作者はどんな人だと思うか。何を伝えたくてこの話を書いたのか。
どこかミスってないか。(あら探しをすると意外と盛り上がることもある)

2. 実際の質問例

- 内容について
 - ・(読む前に)題名を見て、どんな話だと思ったか。
 - ・一番面白かったところはどこか。
 - ・納得できなかったところはどこか。
 - ・結末をどう思うか。
 - ・続きがあるとしたら、どんな話になると思うか。
 - ・タイトルと内容は合っているか。他にタイトルをつけるとしたら何？
 - 登場人物について
 - ・好きか嫌いか。
 - ・自分は誰に一番近いと思うか？
 - ・映像化するとしたらどんなキャスティングにしたらいいか？
 - 作者について
 - ・この作者の他の作品を知っているか。(どんな話か教えてください)
 - ・その他、作者について何か知っていることがあれば教えてください。
 - 自分が出した質問への答えはどんな意見でもきちんと受けとめること。
自分の意見をちゃんと聞いてくれると思えば、人には好感を持つもの。わかりきった答えだったとしても、真剣に話してくれた人には、ちょっと大げさなくらい感心してみせた方が良い。
(但しやりすぎるとイヤミになるから気をつけて)
- ① 「わかる」か「わからない」か
 - ② 「正しい」か「正しくない」か
 - ③ ①と②は違うが、今の自分はどちらに重点をおいて、意見を言っていたか

としょかん・くらぶ

5 かつ22にち(土あつり)

10:10~11:00

★おくれずに きてね! ★



ともしょかん



とても 静かながら
ボールペンワークでした。

そして
うめうめくめくおま。

と 11) まででくま
おはようございます。

おたのしみには、



かきまわすに なおいた。

ひとりでもよい れんげうを とはかた。

おうちの人も たとさん、きんでもらいましよう。

“よめきかせ” をしてまろう ことで、うめうめくめく
おはようございます。 あてうさん、おめあさん、きんげうくま。

〒154-0041 三芳町福久保185-1

5F2111。

あふしちゅうけつちゅうあうどま(代印)

読書推進プロジェクト

○次回 6/7(月)の活動計画

1. 低・中・高で、読書マラソンカードの感想文のひながたを作る。⇒教室掲示用
どんなことを書いたらよいのか……。しっかり感想を書くことの徹底。
2. 家庭に向けてのアンケートの項目作り

6/21(月)の職員会議で提案、検討してもらいたい。



7月上旬にアンケートを配布



集計



アンケートの集計結果の検討



アンケートの集計結果に基づき、検討し、秋に『親子読書』を実施。

親子で一緒に読書する時間を作る。

感想(読んだ本と内容、おすすめの本、親子読書した感想、等)を書いてもらう。

「毎月〇日は、～の日」のようなネーミングをつけたり、啓発ポスターやチラシを作成したりしてみたら……。

『親子読書』実施に向けて……

- ・PTA(広報で特集を組んでもらう、等)や校長先生(家庭教育学級で読書の大切さについて話していただく、等)に協力をお願いする。

3. 家庭読書の取り組みに向けてのカード作成

土・日に20分くらい読書し、音読カードのように記録を提出。できれば、保護者も読書タイムにできるとよいのでは。

4. おはなしタイム お昼の放送の利用……詩などを放送する。

月曜日の朝が読書タイムなので、昼にお話や詩などを放送すると、月曜日は読書の日、と意識づけるのでは。

読書タイムのお知らせ時に、さわやかのように「読書が始まる」と意識できるような曲を流すといいのでは。

<夏休み中の活動計画>

○ブックリスト作り

研修の時に、先生方におすすめの本を本校の図書室から探して、リストアップしてもらう。



低・中・高に調整して、『親子読書』に向けてのブックリストを作成する。

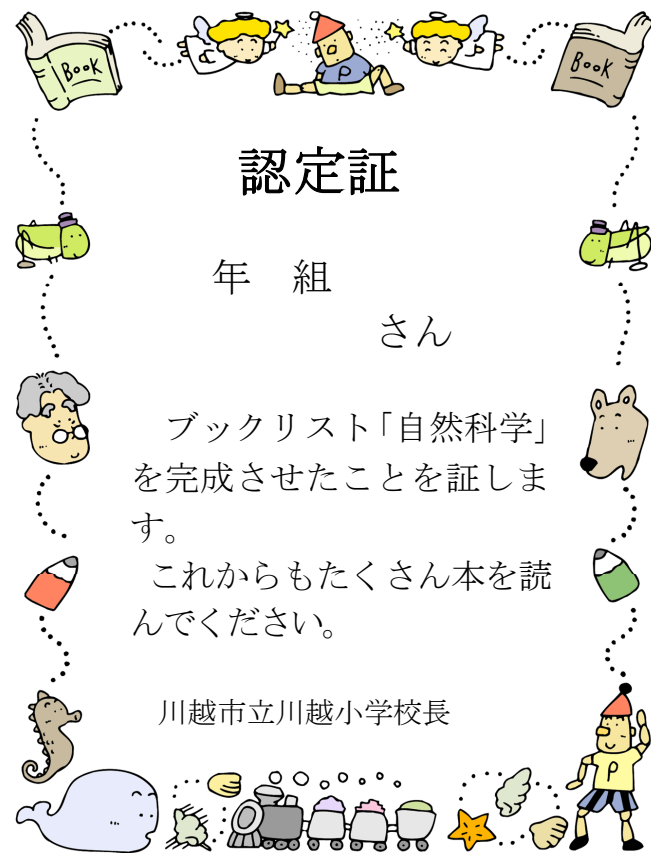


ブックリスト

伝記



年 組 名前()



ブックリスト

自然科学



年 組 名前()

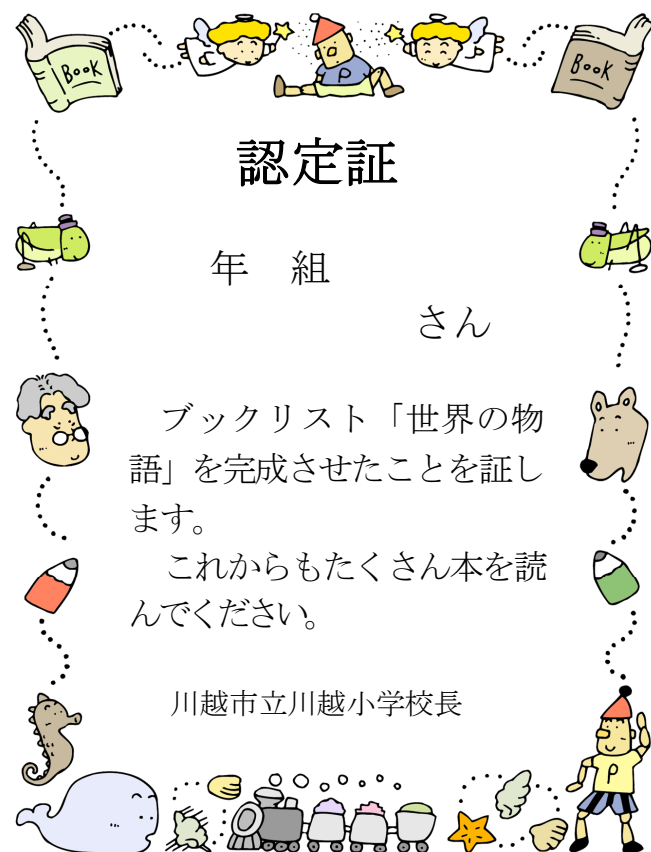


ブックリスト

読み物



年 組 名前()



ブックリスト

世界の物語



年 組 名前()

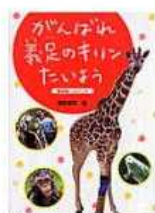


いのしし
前川真行 写真・文
(アリス館)

☆いのししの赤ちゃんは、しま模倣だと思ってました？

NDC ()

読んだ日
月 日



がんばれ義足のキリンたいよう
—動物園へようこそ—
国松俊英 編 (ポプラ社)

☆動物が主人公の短いお話が入っていて読みやすい本

NDC ()

読んだ日
月 日



ローザ
ニッキ・ジョバンニ 文
さくまゆみこ訳 (アリス館)

☆人種差別と戦った一人の女性を描いた絵本

NDC ()

読んだ日
月 日



杉原千蔵物語

命のビザをありがとう

杉原幸子・弘樹著 (金の星社)

☆戦争中ユダヤの人々を救った日本人外交官の物語

NDC ()

読んだ日
月 日



大望遠鏡「すばる」誕生物語
星空にかけた夢
小平桂一 著 (金の星社)

☆宇宙の彼方をさぐる大望遠鏡にかけたプロジェクトの夢

NDC ()

読んだ日
月 日



クマは「クマッ」となく?!
おもしろ動物生態学
熊谷さとし著 (偕成社)

☆みんなが知らなかった動物豆知識

NDC ()

読んだ日

月 日



福沢諭吉

この人を見よ！歴史をつくった人びと伝
脇坂敦史 著 (ポプラ社)

☆おれにもなった有名人は、何をした人？

NDC ()

読んだ日
月 日



悲劇の少女アンネ

「アンネの日記」の筆者・感動の生涯
シュナーベル著 (偕成社)

☆戦争中かくれがに暮らしたアンネの生涯

NDC ()

読んだ日



西遊記
石からうまれた孫悟空
唐垂明 文 (偕成社)

☆有名なまんごくうの物語。絵がとてもきれいな本

NDC ()

読んだ日
月 日



竹取物語

江國香織 文
(新潮社)

☆日本で最も古い話。意外と知らないかくや姫のお話

NDC ()

読んだ日
月 日



オットー

戦火をくぐりぬけたティディーベア
トミー・ウンゲラー作 (評論社)

☆泣いてくるおのティディーベアの不思議な運命

NDC ()

読んだ日
月 日



ウェズレーの国

ポール・フライシュマン作
千葉茂樹 訳 (あすなろ書房)

☆1人の男の子が作物を育て、文字を作り自分の国を作る絵本

NDC ()

読んだ日
月 日



雪の女王
アンデルセン作・木村由利子訳
(偕成社) NDC ()

☆雪の女王にさらわれた灰皿カミを機に待つゲルダの物語

読んだ日
月 日



大どろぼうホッツェンプロッツ
プロイスラー作 中村浩三訳
(偕成社) NDC ()

☆まぬけなどろぼうと2人の少年のゆかいな物語

読んだ日
月 日



ぼくらの先生

はやみねかおる著 (講談社)

☆学校での不思議なできごとを解決していくのは

先生の奥さん！ NDC ()

読んだ日
月 日



おいじちゃんの口笛

ウルフ・スタルク作 菱木晃子訳
(あすなろ書房) NDC ()

☆おいじちゃんがいらない男の子においじちゃんができること...

読んだ日
月 日

いつもと違う読書をしようプロジェクト

2010/07/09

文責 小日向

チーム構成員

2010年前期図書委員、宍達先生、小日向先生

目的

読書の傾向は、一人一人違う。しかし、その個人の中では偏りがある。それをいくらかでも変えていき、さまざまなジャンルの本に挑戦してもらおう。

活動計画

①担任・副担任の先生への

「尊敬する人(偉人・歴史上の人物) & その人に関連する本」の聞き込み調査

学年以外の先生…3年生担当

校長先生→(武田君) 教頭先生→() 飯田先生→()

藤井養護教諭→()

②調査を下に、本を探す…関連本も探す

③その中から、自分の興味・関心のあるものを選び読む…夏休み

自分が調査した本を、聞き込み調査に協力してくださった先生に知らせる

→その先生が読んでくださるよう紹介する

④全校生徒に向けて発信する…夏休み明けに掲示物作りをし、読書週間で発表する

日程

7月 9日(金)第1回会議

7月14日(水)までに聞き込み調査をする

7月15日(木)16日(金)

本探し…早朝7時～8時 & 放課後の30分程度は図書室使用可能

7月20日(火)終業式後第2回会議

8月24日(火)第3回会議予定

9月 第4回会議 & 掲示物作成

先生方へお願い

上記の内容で図書委員が、聞き込み調査を行います。来週初めの3日間です。偉人や歴史上の人物でいいなあ、尊敬できるなあと思う人物とそれにまつわる本を考えておいてください。超ご多忙中とは存知ますが、何卒ご協力の程よろしくお願いいたします。

いつもと違う読書をしようプロジェクト

担当者(年 組 氏名)

聞き込み調査

①誰に調査したか

(先生)

②その人の尊敬する人物・偉人(良いなと思う人)

()

③尊敬する人(良いなと思う人)にまつわる本

書 名	著 者 名	出版社名

④図書室・図書館で調査した結果

NO.	書 名	著者名	出版社名	お薦め度
1				A B C
2				A B C
3				A B C
4				A B C
5				A B C

⑤夏休みに読む本はこれだ！

書 名	著 者 名	出版社名

年 組 氏名

書 名	著 者 名	出版社名

⑦紹介と感想

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal dashed lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page, providing a guide for handwriting practice. There are no other markings or text on the page.

年 組 氏名

書 名	著 者 名	出版社名

⑨お薦めのための文章(掲示物&図書たより用)

[illegible]

()先生がこの人を選んだのは、

だからだと考えます。

いつもと違う読書をしようプロジェクト③

『前回までに書いた原稿を基に、掲示物を作ろう』

- ①紙の大きさ 模造紙半分
- ②筆記具 マジック・クレヨン・絵の具など目立つもの
- ③参考にするもの 前回と前々回に書いたプリントを利用する
- ④レイアウトは自由

条件《わかりやすい》《見て楽しい》《読みたくなる》

内容条件 あ 聞き込み調査の結果 ①～④

い 自分が選んだ本（書名・著者名・出版社名）

う 紹介文

え その本の表紙またはその人物の顔の絵など

⑤作成にとれる時間

- ・9月の委員会活動の日（9月3日）
- ・10月の委員会活動の日（10月15日）に必ず仕上がっていること！

（特に3年生は、自分のべんきょうとのかねあいを考えて計画的に進めること）

ですから、各自時間を見つけて作成してください。10月27日から読書週間が始まるのでそれまでに仕上げ掲示します。

⑥掲示場所 各階廊下を予定しています。

いつもと違う本を紹介しようブックトーク

担当者(年 組 氏名)

①冬休みに読む本はこれだ！(分類番号2、3、4、5、6)

書 名	著 者 名	出版社名

②冬休みに読んだ本はこれだ！

書 名	著 者 名	出版社名

③感想

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

[illegible]

冬休みにこの魅力あふれる紹介文を暗記しておくこと。

図書委員によるいつもと違う読書をしようブックトーク

--

書名

--

推薦文

--

著者名

--

出版社名

--

(価格)

--

内容

--

地図<光陽中図書館のここにある>

--

本を読んで、感想を書こう！

年 組 番 氏名

第1段階 読書感想メモづくり

書名			
著者名 (編者名)		出版社名	
主な登場するものとその関係			
著者(編者)について			
主な内容			
印象に残った部分(表現・登場人物の生き方から学んだこと・疑問に思ったこと・自分との比較・考えたことなど)・・・ここにいろいろ書けると、本文を書く時助けになる！			

第2段階 材料を選ぶ

表のメモの印象に残った部分を基にして、何を中心に書くか選ぶ。

第3段階 構成を考える

使いたいメモをとるように位置付けるか、順番を考える。

第4段階 書く！（この部分を利用して良いが、清書は原稿用紙に行うこと）

[illegible]

第5段階 推敲する

第6段階 清書する！

1と6を踏まえて行くと、読書感想文の形になる。

読書感想文を読もう

名前 組

十月二七日から読書週間！やこで、

夏休みの課題である読書感想文を隣の人に読んでもらおう

隣の人の名前（

）さん：フルネーム、漢字を使って書く

隣の人の読書感想文で印象に残ったところを書き抜こう。

自分の感想で、良いと思うところを選んで、短い感想に書き直してみよう。

私（ほく）は、こう考えますが、あなたはどう思いますか。

読んだ本の書名（

著者名

先生

読書週間に関するお願い

今回の11月 日～ 日までの図書委員会の読書週間にあたり、先生が東校生へお勧めする本をクイズにして(本の感想をヒントに本と先生の名前を組み合わせるものです)発表する事となりました。そこで、先生のお勧めする本を以下の欄にご記入をお願いします。どんな本でもOKです!

よろしくお願いします m(_ _)m

本の名前

著者名が分ればお願いします

クイズに載せる本の一言感想をお願いします

10月 日に図書委員が取りに行きます。

ライブラリークイズ

以下の問題で紹介している本は東高校の一部の先生方や生徒のオススメ本です。
あなたは誰がどの本をオススメしているのかわかりますか？

問1 『数学的にありえない』 《著者》 アダム・ファウアー

〔感想〕タイトルにひかれて買いました。数学オンチでガチガチの文系の自分でも読みやすく、上・下巻一気に読めました。
新感覚のサスペンスでおもしろかったです。

問2 『中原の虹』 《著者》 浅田 次郎

〔感想〕中国清朝末期、白虎張こと張作霖を主人公とした小説ではあるが、混沌とした時代に生きた様々な人間模様を描く
すさまじいその生きざまに心が凍る。

問3 『THE FIGHT』 《著者》 ノーマン・メイラー

〔感想〕モハメッド・アリが当時無敵といわれたジョージ・フォアマンを破り、ボクシング世界ヘビー級チャンピオンに
返り咲く試合のドキュメンタリーです。

問4 『夜は短し歩けよ乙女』 《著者》 森見 登美彦

〔感想〕ダルマ・古本市・魔風邪 etc…奇想天外な”先輩” ”後輩” の恋物語。私も大学生に戻りたくなりました。

問5 『クレーの絵本』 《著者》 パウル・クレー画／谷川 俊太郎・詩

〔感想〕クレーは「目に見えないものを見えるようにするのが絵」といいました。俊太郎はクレーの言った見えないものを
言葉にして私たちに伝えてくれます。2人のコラボレーションはとても素晴らしい一言。

問6 『ブレイブストーリー』 《著者》 宮部 みゆき

〔感想〕映画化もされていますが、本で読んだ内容の方が面白いと思います。この作品の映画しか見ていない方は、是非
文庫本も読んでみるといいと思います。

問7 『名人伝』 《著者》 中島 敦

〔感想〕山月記でおなじみの中島敦が書いた作品です。終盤に向かうにつれ、話の展開が意外な方向に進んでいくので
飽きずに読めます。

問8 『告白』 《著者》 湊 かなえ

〔感想〕良い後味の悪さです。

問9 『孤高の人』 《著者》 新田 次郎

〔感想〕加藤 文太郎さんの強い意志を感じる事ができます。

問10 『特別法第001条 DUST』 《著者》 山田 悠介

〔感想〕近年のニート問題を題材にした作品。山田悠介らしい人間の本性と独自の世界観が良かった。

【解答群】

A 奥田先生 B 高島先生 C 柴田先生 D 斉藤先生 E 栗林先生

F 森内 俊太くん（陸上部部長）G 高塚 愛実さん（図書委員委員長）H 水谷 友紀さん（生徒会長）

I 杉原 大輝くん（男子バレー部部長）J 深田 安莉さん（写真部部長）

解答欄

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10

年 組 番 氏名

ご参加、お待ちしております

東高読書週間

～もっといろいろな本を読もう～

期間

11月15日(月) ～ 11月19日(金)

企画

読書週間クイズ & 雑誌の付録プレゼント大会

【読書週間クイズ】

本を借りた人にカウンターでクイズの用紙を
配布します!!どなたでも参加できます

賞品

図書カード他、豪華賞品あり

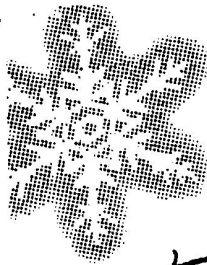
結果発表

11月24日(水) 昼休み

雑誌の付録プレゼント大会といっしょに
表彰式を行い、賞品をお渡しします。

山田悠介作品について語る会

11月15日(月) 15:45～17:00に
山田悠介好きなあなたと司書さんによる
大討論会を開催!!気軽に参加してください。



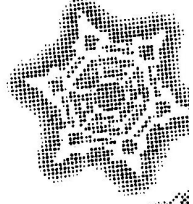
年 組 様

今年度読書週間企画
に参加していただき

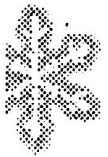
ありがとう



ございました。



少しではありますが
賞品を用意しました
ので、11月24日12:45
頃に図書館にお越し
下さい。



2009

春日部東高校図書委員会





ちゅうりゅうとし・ゆん
＝ズッダ・トーダ＝
ぼんの コマーシャル



チマンチマンとん・ズー・ミンとんを
かみちしに読・書友書店

フランスのよみしめ・2021・11月
手紙おぼのアドー



チマンチマンとん・ズー・ミンとんを
かみちしに読・書友書店

三所町 立憲書庫

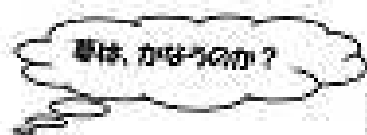
三所小中校 4年生

平成22年11月25日

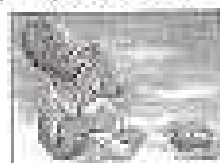
日本の上りしめ・2021・11月
ア・コレート



大村 昌 月
北村 昌 月
読友書店

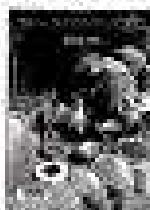


あしおしろうかばお
だいるくも



読友書店

あしおしろうかばお
カレーライスがやっつる



読友書店

あしおしろうかばお
マタロもどてる
一読者むしめて
フランスのよみしめ・2021・11月



読友書店

フランスのよみしめ・2021・11月
ひんどもどてる



読友書店

《調査研究指導助言者》

実践女子大学文学部教職・図書館学課程	主任教授	塚原 博
--------------------	------	------

《調査研究協力委員》

三芳町立中央図書館	副 館 長	代田 知子
埼玉県立春日部東高等学校	主任司書	木下 通子
越谷市立光陽中学校	司書教諭	小日向 輝代
川越市立川越小学校	司書教諭	中島 晶子

《担当職員》

埼玉県立総合教育センター	生涯学習担当	主任社会教育主事	相澤 輝久
	〃		橋本 孝司
	〃		古川 博志



研究報告書 第346号

学校、家庭、地域が一体となった子どもの読書活動推進についての調査研究

平成23年3月発行 （平成22年度）

編集・発行 埼玉県立総合教育センター 生涯学習担当

〒366-8555 埼玉県さいたま市緑区三室1305-1

TEL 048-874-1221 （代表）

048-712-5656 （生涯学習担当直通）

FAX 048-810-1013

《平成23年4月1日より》

〒361-0021 埼玉県行田市富士見町2-24

TEL 048-556-6164 （代表）



埼玉県のマスコット「コバトン」